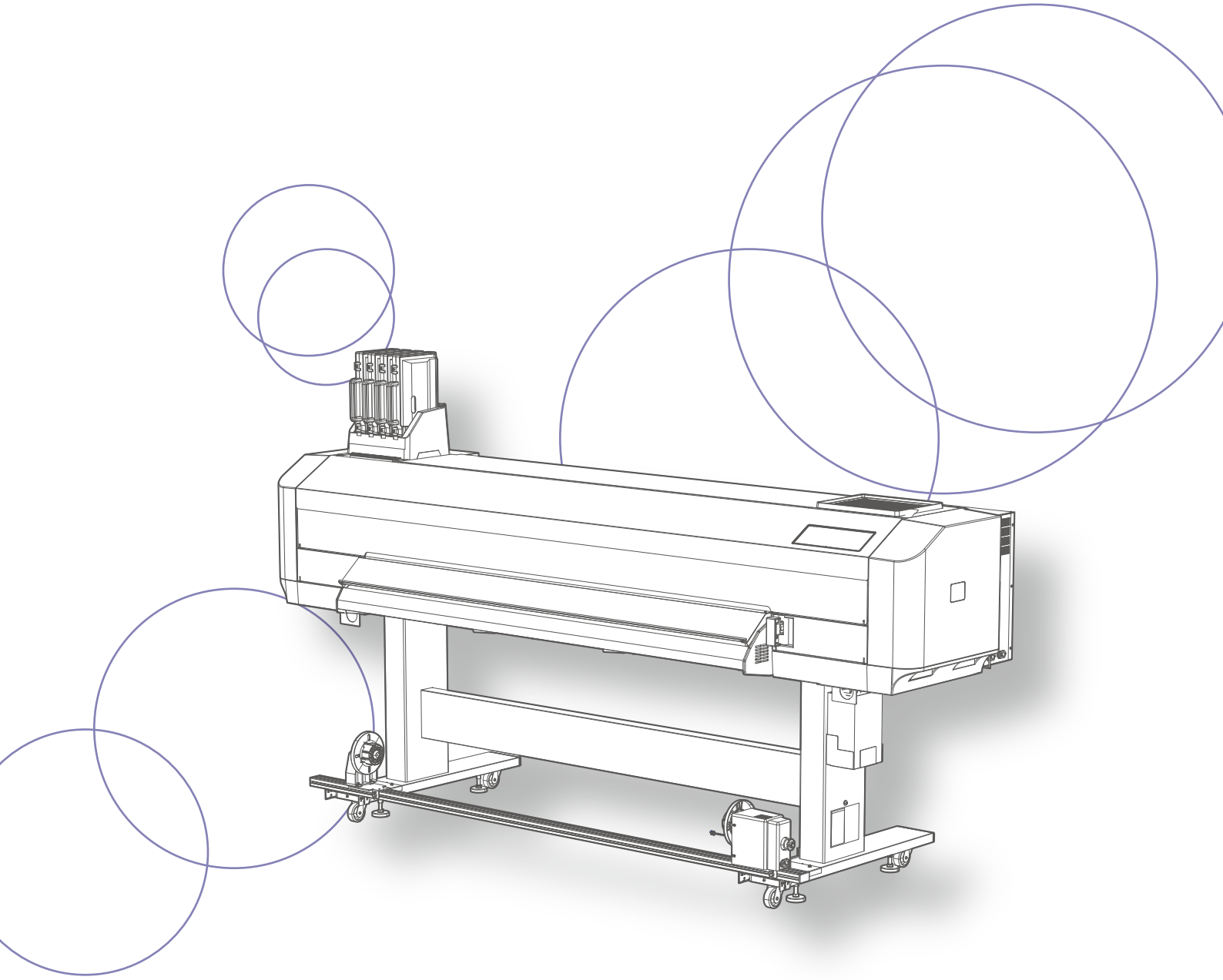
MUTOH

HA-1642

スタートアップガイド

開梱と組み立て



HA1642J-Q-03

大切なお知らせ

この装置は、クラス A 機器です。この装置を住宅環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。
この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

受信障害について

本製品は弱い電波を出すので正しく設置・使用されていない場合には、ラジオやテレビの受信障害の原因となることがあります。
もし本製品がラジオ・テレビ受信の障害原因と思われましたら、次の方法を組み合わせて防止してください。

- 受信アンテナやフィーダーの方向を変えてみる
- 本製品の使用方向を変えてみる
- 受信機と本製品の距離を変えてみる
- 本製品と受信機とは別系統の電源ラインを使用してみる

Microsoft、Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
VerteLith は武藤工業株式会社の日本ならびにその他の国における商標、または登録商標です。
記載されている会社名、製品名は、各社の商標および登録商標です。

- 本書の内容の全部、または一部を無断で複写・複製することを禁止します。
- 本書の内容につきましては万全を期していますが、万一ご不明の点や誤り、お気づきの点がございましたら、弊社またはお買い求めの販売店にご連絡ください。
- 本書に記載された取扱方法以外の手順によって生じた故障、事故などにつきましては、一切責任を負いかねますのでご了承ください。

目次

安全にお使いいただくために 6

安全表示について 6
異常事態が発生したときは 7
使用上の警告と注意 8
警告ラベル 13
操作ラベル 16

設置前の確認 18

設置上のご注意 18
最小設置スペース 18
電源仕様 19
環境条件 20

開梱 21

開梱準備 21
プリンターの開梱 22
梱包の内容 23

組み立て 25

スタンドの組み立て 25
プリンターの取り付け 27
廃液タンクの取り付け 29
保護材の取り外し 31
巻き取りユニットの接続 34

目次

ケーブルの接続 40

プリンターと電源コードの接続 40
イーサーネットケーブルの接続 42

セットアップ 43

セットアップの流れ 43
プリンターコントロールパネルの使い方 43
Step1 初期設定 44
Step2 アクティベーション 46
Step3 初期充填準備 47
Step4 初期洗浄～初期充てん 48

テスト印刷 55

メディアをセットする 55
ノズルチェックをする 64
ヘッドクリーニングをする 65

MUTOH Status Monitor のインストール 66

MSM のインストール方法 66

お問い合わせ先 67

安全にお使いいただくために

安全表示について

本書では、人への危害や財産の損害を防止するため、必ずお守りいただきたい内容をマーク表示しています。
各マークが持つ意味を理解し、本製品を安全に正しくお使いください。

■ 指示を無視したり誤った取り扱い方で生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分して説明しています。

警　告	回避しないと死亡、または重傷を負う可能性がある内容を示しています。
注　意	回避しないと軽傷、または中程度の傷害、製品などの損害に結びつく可能性がある内容を示しています。

■ お守りいただく内容の種類を、次の図記号で区分して説明しています。

	してはいけない「禁止」です。 この中に描かれた図は、具体的な禁止の内容を示しています。
	必ず実行しなければならない「強制・指示」です。 この中に描かれた図は、具体的な強制・指示の内容を示しています。

■ その他のマーク表示

Important!	特に注意したり、お守りいただきたい内容を示しています。
Note	補足説明や参考情報を示しています。
☞	関連した内容の参照先を示しています。

Note

マーク表示中の本体の各部名称については、取扱説明書の「ご使用の前に」をご参照ください。

異常事態が発生したときは

警　告

- **万一、煙が出ていたり、変な臭いがしたりするなどの異常事態が発生したら、電源ボタンをオフにして、コンセントから電源プラグを抜いてください。**
  そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。煙が出なくなるのを確認してから、カスタマーサポートまでご連絡ください。お客様による修理は危険ですから、絶対にしないでください。
- **異物や水などの液体が製品内部に入った場合は、すぐに電源ボタンをオフにして、コンセントから電源プラグを抜いてください。**
  そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。異常がないのを確認してから、カスタマーサポートまでご連絡ください。お客様による修理は危険ですから、絶対にしないでください。

- **インクやメンテナンス液、廃液が皮膚に付着した場合は、直ちに布などで拭き取ってください。そのあと石鹸と多量の水で洗浄してください。皮膚に刺激があったり、炎症したりする場合は、医師の診断を受けてください。**
- **インクやメンテナンス液、廃液が目に入った場合は、直ちに多量の流水で 15 分間洗浄してください。目に刺激や痛みを感じた場合は、速やかに医師の診断を受けください。そのまま放置すると、目の充血や軽い炎症を起こすおそれがあります。**
- **インクやメンテナンス液、廃液を飲み込んだ場合は、無理に吐かせないで直ちにうがいをして、速やかに医師の診断を受けてください。無理に吐かせようとすると、吐いたものが気管に入ってしまうおそれがあります。**

使用上の警告と注意

製品の取り扱いについて

警　告

	• **雷が鳴り出したら、製品に触れないでください。** 感電の原因になります。 • **通風孔などの開口部から製品内部に、金属類や燃えやすいものを差し込んだり、落としたりしないでください。** 火災や感電の原因になります。 • **毛布やテーブルクロスのような布を本製品にかけ、通風孔をふさがないでください。** 通風孔をふさぐと製品内部に熱がこもって、火災の原因になります。 • **可動部に触れないでください。** 負傷や製品の故障の原因になります。 • **製品の上に乗ったり、重いものを置いたりしないでください。** 転倒や転落により、けがをする原因になります。 • **印刷中やヒーター動作中はメディアガイドに触れないでください。** やけどをするおそれがあります。
	• **製品を改造したり、ネジで固定してあるカバー類を絶対に開けないでください。** 感電や製品が故障する原因となります。また製品を改造したり、分解したりすると保証の対象外になります。
	• **製品を取り扱う場合は、次の点に注意してください。** 1. 紫外線を至近距離で長時間見つめないでください。眼障害の原因になります。 2. 紫外線を至近距離で長時間皮膚にあてないでください。炎症をおこす原因になります。 • **UV-LED ユニットから少量の紫外線（青白い光）の漏れがありますが、安全なレベルに抑えられています。**

注　意

	• **製品を傾けたり、衝撃を与えないでください。** 製品内部のインクが漏れる原因になります。また正常動作が保証できません。
	• **フロントカバーおよびメンテナンスカバーの取り扱う場合は、次の点に注意してください。** 1. カバーに送風機、空調設備などの強い風が当たる場所に設置しないでください。予期せずカバーが閉じるおそれがあります。 2. カバーを開けるときは、周囲の物や人にぶつからないように安全を確認してください。

電源コードについて

警　告

- **電源コードや電源プラグを傷つけたり、加工しないでください。また、重い物をのせたり、加熱したり、無理に曲げたり、引っ張ったりしないでください。**
  電源コードが破損して、火災や感電の原因になります。
- **電源コードの破損や芯線の露出、断線などがみられる場合は使用しないでください。**
  火災や感電の原因になります。
- **アース端子を電源コンセントに差し込まないでください。**
  火災や感電の原因になります。
- **電源プラグの刃に金属などが触れないようにしてください。**
  火災や感電の原因になります。
- **延長コードの使用やタコ足配線をしないでください。**
  火災や感電の原因になります。
- **アース線は、次の場所に接続しないでください。**
  1. ガス管：引火や爆発するおそれがあります。
  2. 電話線用アース線および避雷針：落雷時に多量の電流が流れる可能性があります。
  3. 水道管および蛇口：T 配管の途中がプラスチック製になっている場合は、アースの役目を果たしません。

- **濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。**
  感電の原因になります。

- **指定された電源仕様で使用してください。**
- **必ず指定の電源コードを使用してください。**
  指定外の電源コードを使用すると、火災や感電の原因となります。指定品はカスタマーサポート、または販売店までお問い合わせください。
  1. 電源コードは保護接地端子を備えたものとし、確実にコンセントに接続してください。
  2. 電源コードは使用する国の安全規格、電源、電圧、プラグ形状に適合したものを使用してください。
- **電源コードは必ず製品の近くにあるコンセントに差し込んでください。**
- **電源プラグの刃を根元まで確実に差し込んでください。**
  差し込みが不完全の場合、火災や感電の原因になります。
- **電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。**
  電源コードを引っ張るとコードが破損して、火災や感電の原因になります。
- **電源プラグを定期的に乾いた布で清掃してください。**
  溜まったホコリに水分や湿気が付着して、ショートする原因になります。また火災や感電の原因になります。
- **長時間ご使用にならないときは、コンセントから電源プラグを抜いてください。**
  電源プラグにホコリが溜まり、火災や感電の原因になります。
- **電源コードはコードクランプにはさんで固定してください。** ☞「プリンターと電源コードの接続」P.40

- **電源プラグは、必ずアース端子付きの専用コンセントに接続して、アース線を接続してください。**
  アース線を接続しないと、火災や感電の原因になります。
- **アース線は、次のいずれかの規格を満たすアースに接続してください。**
  1. 電源コンセントのアース端子
  2. 銅片を深さ 650 mm 以上の地中に埋めたアース線
  3. D 種接地工事を実施している接地端子

注　意

- **電源コードを接続する電源コンセントの入力電圧、ブレーカーの容量を確認してください。また、それぞれの電源コードはブレーカーが独立している別の電源に接続してください。**
  同じブレーカーにつながっているコンセントに接続すると、ブレーカーが遮断する原因になります。

メンテナンスについて

⚠ 注　意

	• **清掃するときは、必ず保護具（手袋、ゴーグルまたは保護メガネ、保護衣、マスク）を着用のうえ、作業を実施してください。**
	• **プリントヘッドを清掃するときは、次の内容を守ってください。** 1. 必ず指示された手順通り実施してください。 2. 専用のメンテナンス液を使ってください。専用メンテナンス液以外を使用すると、プリントヘッドが故障する原因になります。 3. 未使用のクリーンスティックを使用してください。使用済みのクリーンスティックを再利用すると、プリントヘッドが故障する原因になります。 4. クリーンスティックの先端を素手で触らないでください。皮脂が付着するとプリントヘッドが故障する原因になります。 • **メディアガイドが十分に冷めてから作業を実施してください。** メディアガイドが高温になっていて、やけどをするおそれがあります。
	• **プリントヘッド周辺を清掃するときは、プリントヘッドのノズル面には絶対に触れないでください。** プリントヘッドが破損する原因になります。 • **クリーニングワイパーを清掃するときは、クリーニングワイパーおよびヘッドキャップユニットには手を触れないでください。** 油脂が付着して、ヘッドクリーニングが正常に動作できなくなる原因になります。 • **シンナー、ベンジン、アルコール等の揮発性薬品は使用しないでください。** 塗装や樹脂製カバーを傷める原因になります。 • **インク充てん中は、次の動作をしないでください。** 1. 製品の電源をオフにする 2. 製品の電源コードを抜く 3. フロントカバーやメンテナンスカバーを開ける 4. 加圧アームを上げる 5. プリンターを移動する

設置場所について

警　告

	• **換気ができる場所に設置して、作業場を十分換気してください。** インクの臭気により健康に悪影響をおよぼす可能性があります。頭痛やだるさ、めまいなどを感じた場合は作業を中断し、空気の新鮮な場所にて休息してください。吐き気などが続くときは医師の診察を受けてください。 • **製品を梱包箱から取り出すときは、必ずビニールを外してください。** ビニールを付けたまま持ち上げると、手を滑らせて製品を破損する原因になります。

注　意

	• **次の条件を満たす場所にプリンターを設置してください。** 1. 水平な場所 2. 他の機器の振動が伝わらない場所 3. 湿気やホコリの少ない場所 4. 温度・湿度の変化が小さい場所 5. 直射日光が当たらない場所 6. 水などがかからない場所 7. 風（冷暖房器具含む）が直接当たらない場所 8. 電磁波などのノイズが少ない場所
	• **本製品は子供がいる可能性がある場所には設置しないでください。** • **直射日光が当たる場所に設置したり、カバーを外したりしないでください。** 製品に搭載されている UV-LED ランプ以外に、直射日光や人工光などから UV 光が発生しています。そのような意図しない UV 光によって、インクが硬化して製品の故障するおそれがあります（ノズルの詰まり、メンテナンスユニットの機能障害など）。

移動について

注　意

	• **短い距離の移動であっても廃液タンクを空にしてください。故障の原因になります。** • **必ず 3 人以上でプリンターを移動してください。また水平の状態を保ったまま移動してください。移動後の正常動作は保証できません。** • **本製品を移動するときは安全靴の着用を推奨します。**

インクと廃液について

警　告

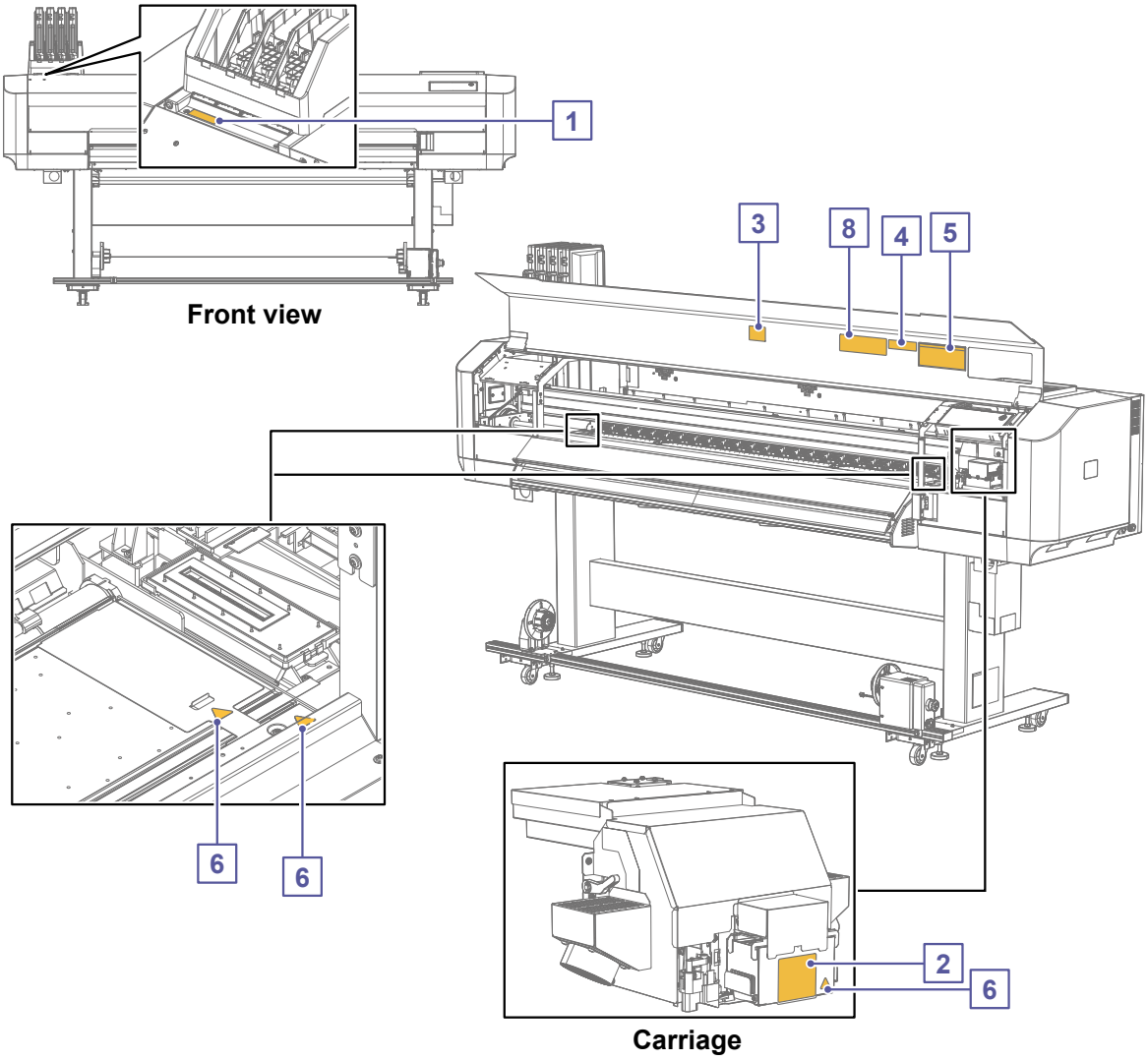
	• **インクや廃液などを取り扱う際の安全注意事項については、安全データシート（SDS）に詳しく記載されています。** これらの液体を取り扱う際は、必ず SDS をよくお読みください。 最新の SDS は、弊社ホームページ（https://www.mutoh.co.jp/）からダウンロードしてください。
	• **インクを取り扱うときやインクが付着する可能性のある作業をするとき（例：プリントヘッドやキャップ、ワイパの清掃など）は、必ず保護具（手袋、ゴーグルまたは保護メガネ、保護衣、マスク）を着用してください。** • **2 種類の保護手袋がプリンターに同梱されています。インクの浸透を防ぐため、ポリエチレン手袋（ピンク色）の上にゴム手袋を重ねて着用してください。その手袋が利用できない場合は、ブチルゴム製の手袋を着用してください。** • **手袋にインクが付着した場合は新しい手袋に取り換えてください。** • **硬化前のインクを素手で触らないでください。** メディアの表面特性により、インクが硬化するまでの時間が異なることがあります。インクが硬化しているかどうかを確認するときは、必ず手袋を着用してください。
	• **インクは火気や高温のものから遠ざけた冷暗所に保管してください。**

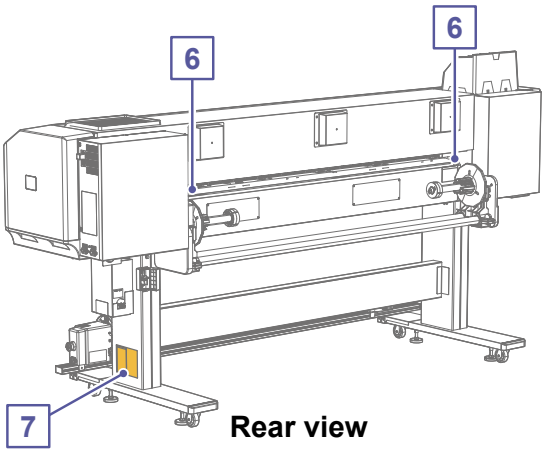
注　意

	• **インクパックを分解したり、強い衝撃を与えたり、激しく振り回さないでください。** インクが漏れる原因になります。
	• **インクは純正品を使用してください。** 本製品は MUTOH 純正品のインクを使用することで性能を十分に発揮できるよう設計されています。非純正インクをご使用になりますと、製品の故障や印刷品質に悪影響が生じる原因となります。この場合には保証の対象外となります。 • **インクは使用期限内に使い切ってください。** 1. 消費期限の切れたインクを使用すると、インクの吐出不良が生じたり、製品が破損する原因になります。 2. 使用中に消費期限が切れた場合は、インクが残っていても消費期限内のインクに交換してください。 3. 使用期限切れのインクは産業廃棄物として処理し、空になったインクパックはビニール袋などに入れて、地域の条例や自治体の指示に従って廃棄してください。 • **インクパックおよび廃液は、次のような場所に保管してください。** 1. 子供の手の届かない場所 2. 火気や高温から遠ざけ、直射日光を避けた冷暗所 • **インクや、本製品から出る廃液、インクなどが付着した容器や紙タオルなどを廃棄するときは、産業廃棄物処理業者、または関連法規、および地方自治体の条例に従って処理してください。** • **本製品から出る廃液が、生活排水や自然水系へ流出しないようにしてください。** • **廃液は HDPE 製かつ、遮光性がある容器で保管してください。** • **廃液を長期保管する場合は、完全密封とせず容器に通気口を設けてください。** • **少量の廃液であっても、他の物質と混合しないでください。他の物質（酸化剤など）と混合すると、発熱の原因となります。**

警告ラベル

本製品の危険箇所には、警告ラベルを貼っています。ラベルの内容を理解し、必ずお守りください。
ラベルが剥がれたり汚れたりした場合は、交換のため販売店にご連絡ください。





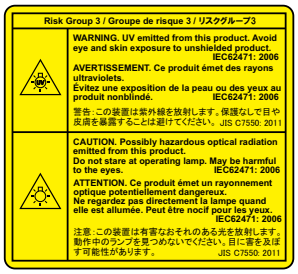
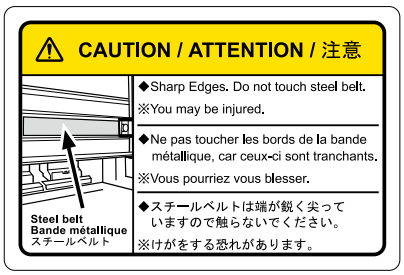
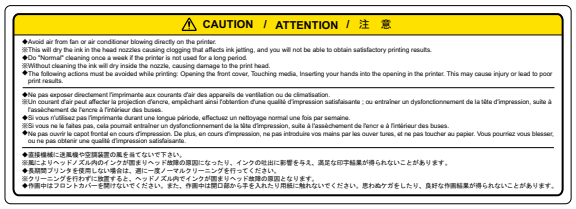
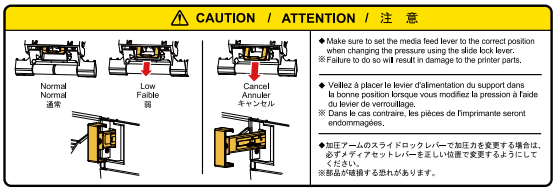
Rear view

Note

以下のマークは中国の安全規格に対応したものです。

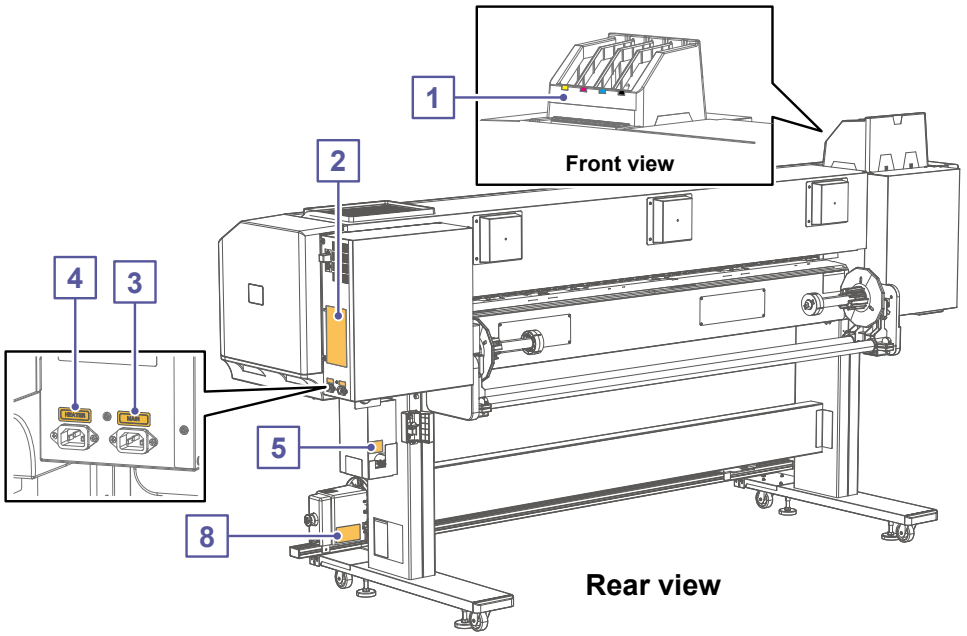
汉文	仅适用于海拔2000m以下地区安全使用。
藏文	《2000m [illegible]》
蒙古文	“[illegible]2000[illegible]”
壮文	Dan hab yungh youq gij digih haijbaz 2000m doxroengz haenx ancienz sawjyungh.
维文	دېڭىز يۈزىدىن 2000 مېتىر تۆۋەن رايونلاردىلا بىخەتەر ئىشلەتكىلى بولىدۇ

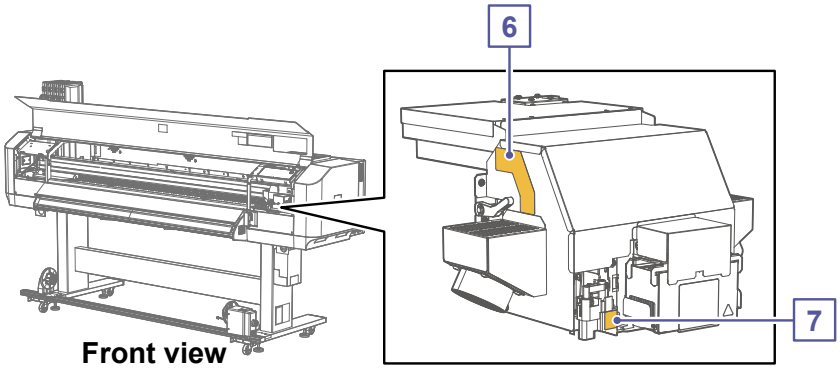
汉文	“仅适用于非热带气候条件下安全使用。”
藏文	《[illegible]》
蒙古文	“[illegible]”
壮文	Dan hab yungh youq gij dienheiq diuzgen mbouj dwg diegndat haenx ancienz sawjyungh.
维文	غەيرى ئىسسىق بەلباغ ھاۋا كىلىماتى شارائىتىدىلا بىخەتەر ئىشلەتكىلى بولىدۇ

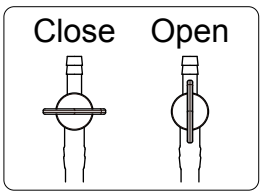
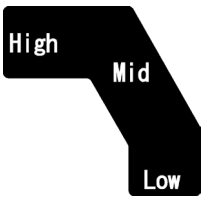
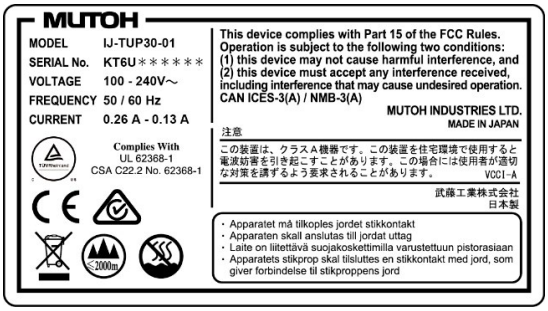
	ラベル種類	名称 / 意味
1		**保護具着用ラベル** • インクを取り扱うときは保護具を着用してください。
2		**UV 警告ラベル** • 紫外線に注意：直視したり、皮膚にあてたりしないでください。
3		**スチールベルトコーション** • この部分に触れないでください。けがをするおそれがあります。
4		**カッターコーション** • カッター付近に指を置かないでください。カッター刃でけがをするおそれがあります。
5		**フロントカバーコーション** • ラベルに記載されている内容を守ってください。
6		**高温注意ラベル** • この部分に触れるとやけどをするおそれがあります。印刷終了後、10 分以上経過するまで触れないでください。
7		**廃液注意ラベル** • 廃インクは人体に影響があります。取扱中は保護マスク、保護メガネ、保護手袋、保護衣を着用してください。
8		**スライドロックレバー注意ラベル** • 加圧アームのスライドロックレバーを使ってメディアにかかる圧力を変更する場合、誤った手順で操作すると部品が破損するおそれがあります。操作手順を守って圧力を変更してください。

操作ラベル

本製品の操作で注意が必要な箇所には、操作説明ラベルを貼っています。ラベルの内容は次のとおりです。





	ラベル種類	名称 / 意味
1		**インク色表示ラベル** • ラベルに対応するインクパックをセットしてください。
2		**定格銘版** • 型式・製造番号・電気定格・認証・届出情報が記載されています。
3	MAIN	**AC インレットラベル (MAIN)** • プリンター用の AC 電源コードのインレットを示します。
4	HEATER	**AC インレットラベル (HEATER)** • ヒーター用の AC 電源コードのインレットを示します。
5		**廃液バルブコーション** • 廃液バルブの開閉位置を示しています。
6		**PG ラベル** • プリントヘッドの高さを調整します。
7		**ORIGIN ラベル** • 原点位置を示しています。
8		**巻き取りユニット定格銘版** • 型式・製造番号・電気定格・認証・届出情報が記載されています。

設置前の確認

設置上のご注意

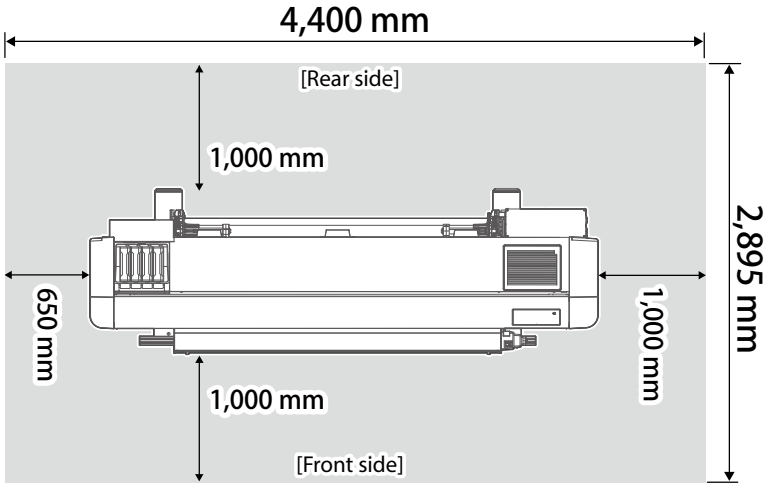
!	• 次の条件を満たす場所にプリンターを設置してください。 1. 水平な場所 2. 他の機器の振動が伝わらない場所 3. 湿気やホコリの少ない場所 4. 温度・湿度の変化が小さい場所 5. 直射日光が当たらない場所 6. 水などがかからない場所 7. 風（冷暖房器具含む）が直接当たらない場所 8. 電磁波などのノイズが少ない場所
⊘	• 本製品は子供がいる可能性がある場所には設置しないでください。

注意

- 必ず本製品の重量に耐えられる場所に設置してください。
  本製品の重量は、スタンド、巻き取りユニットを含めて 185.8kg になります。設置に適していない場所に設置すると、転倒・転落により、けがをするおそれがあります。
- この機器は子供がいる可能性のある場所での使用には適していません。
- 作業場所は換気してください。
  インクの臭気により健康に悪影響をおよぼす可能性があります。頭痛・だるさ・めまいなどを感じた場合は作業を中断し、空気の新鮮な場所にて休息してください。吐き気などが続くときは医師の診察を受けてください。

最小設置スペース

本製品を設置するときは、以下のスペースを確保してください。



- 本体サイズ：(W) 2,770 mm x (D) 895 mm x (H) 1,611 mm*1
  *1 インクパックケース（1,000 ml 専用）装着時。設置スペースの高さは 1,760 mm 以上確保すること

電源仕様

本製品の電源要件は次のとおりです。

■ プリンター本体

- 電圧：
  AC 100 V ～ 120 V ± 10%
  AC 200 V ～ 240 V ± 10%
- 周波数：
  50 / 60 Hz ± 1 Hz
- 電流：
  AC 100 V ～ 120 V：12 A 以下
  AC 200 V ～ 240 V：7 A 以下

■ ヒーター

- 電圧：
  AC 100 V ～ 120 V ± 10%
  AC 200 V ～ 240 V ± 10%
- 周波数：
  50 / 60 Hz ± 1 Hz
- 電流：
  AC 100 V ～ 120 V：10 A 以下
  AC 200 V ～ 240 V：5 A 以下

■ 巻き取りユニット

- 電圧：
  AC 100 V ～ 240 V ± 10 %
- 周波数：
  50 / 60 Hz ± 1 Hz
- 電流：
  AC 100 V ～ 240 V：0.26 ～ 0.13 A 以下

警告

ケーブルタップを使用しないでください。

環境条件

次の条件を満たす場所にプリンターを設置してください。

■ 動作環境：

温度：20 ℃ ～ 32 ℃
湿度：40 % ～ 60 %、結露なきこと

■ 精度保証環境：

温度：22 ℃ ～ 30 ℃
湿度：40 % ～ 60 %、結露なきこと

■ 変化率：

温度：1 時間あたり 2 ℃以内
湿度：1 時間あたり 5 % 以内

■ 保存環境：

- インク未充てん保存：6 ヶ月以内
  温度：10 ℃ ～ 60 ℃
  湿度：20 % ～ 80 %、結露なきこと
- インク充てん保存：1 週間以内
  温度：10 ℃ ～ 40 ℃
  湿度：20 % ～ 80 %、結露なきこと
  ただし、32 ℃ ～ 40 ℃の場合、4 日以内

■ インク保存環境：

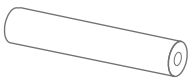
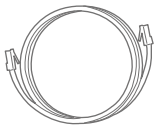
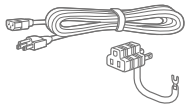
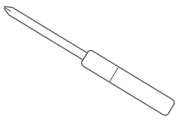
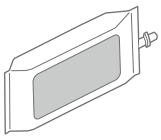
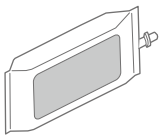
- ブラック、シアン、マゼンタ、イエロー（各 1,000 ml）
  温度：10 ℃ ～ 40 ℃
  湿度：5 % ～ 85 %、結露なきこと
  ただし、40 ℃下は 1 ヶ月以内
  熱源、可燃物から遠ざけ、換気良好な冷暗所に保管すること
- 洗浄パック（300 ml）
  温度：10 ℃ ～ 40 ℃
  湿度：80 % 以下、結露なきこと
  ただし、30 ℃ ～ 40 ℃の場合、1 ヶ月以内

開梱

開梱準備

開梱する前に、次の事項を確認してください。

- 本製品の開梱や組み立て、設置作業は、必ず 4 人以上で実施してください。
- 本製品の設置と初期設定には、同梱品以外に次のものが必要です。

コンピューター：1	 メディア＊：1	 ギガビット対応 イーサネットケーブル：1	 電源コード＊：3
 プラスドライバー：1	 インクパック＊（1,000ml） ：各色 1	 洗浄パック＊（300ml） ：4	専用メンテナンス液＊：1

＊オプション、またはサプライ品です。

- 使用可能なメディアサイズは次のとおりです。
  - 紙管：2 インチ、または 3 インチ
  - 外径：200 mm 以下
  - メディア幅：500 mm ～ 1,625 mm
  - 重量：30 kg 以下

警告

- 必ず指定の電源コードを使用してください。指定品以外の電源コードを使用すると、感電・火災の原因となります。

Important!

コンピューターは、次の条件を満たすものをご使用ください。

- OS：Windows 11、Windows 10
- CPU：Intel (R) Core (TM) i5 以上
- メモリ：8GB 以上
- ネットワーク:ギガビットイーサネットに対応したネットワークポート、Category 6 以降のギガビット対応イーサネットケーブルを使用

Note

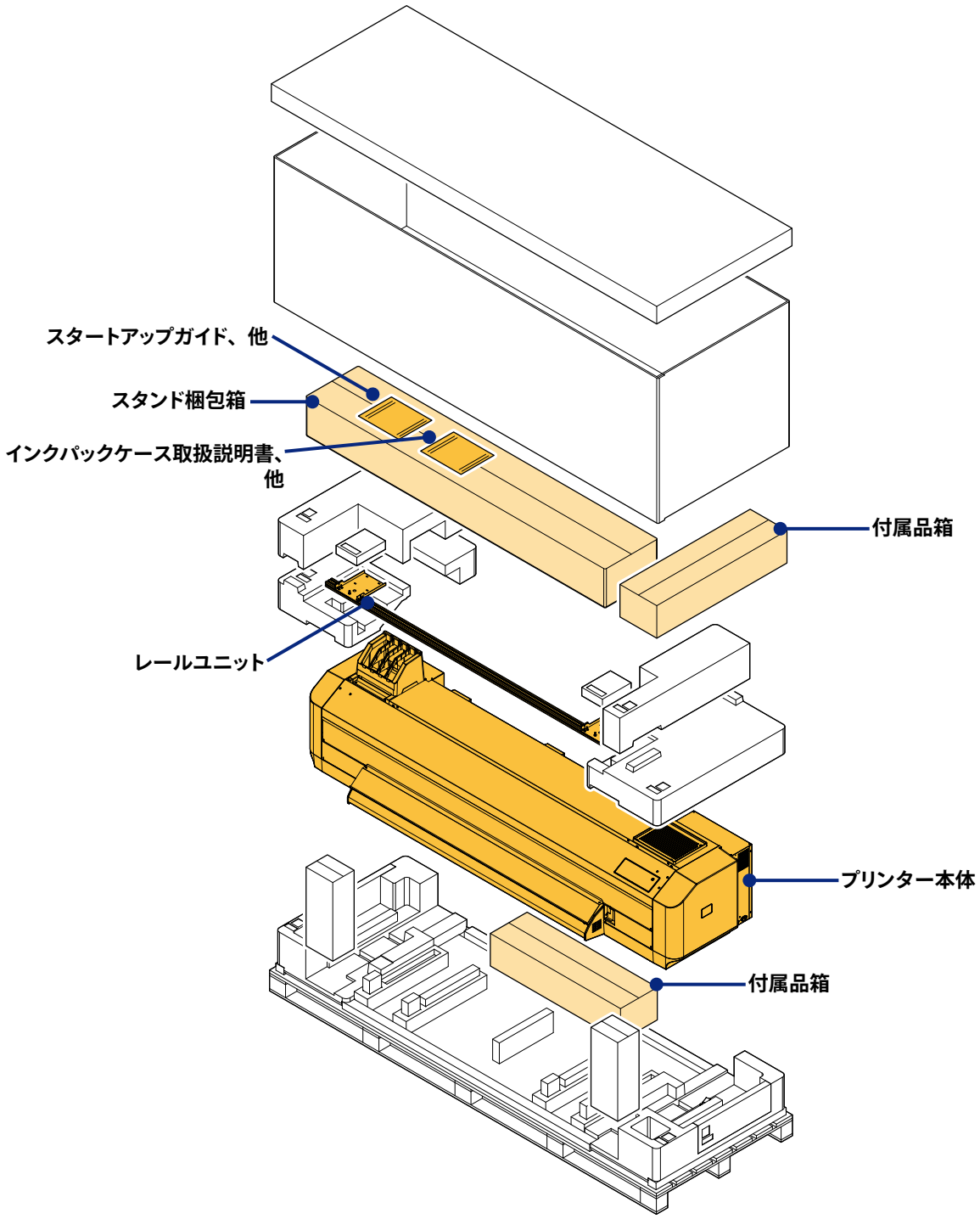
- 当社が提供するソフトウェアの各 OS に対するサポート期間は、マイクロソフトの各 OS のサポート期間に準拠します。
- RIP ソフトウェアをご使用の場合は、RIP ソフトウェアの使用条件もご確認ください。
- プリンターを LAN ケーブルで接続する場合は、接続先のコンピューターと同じサブネットになるようにしてください。

プリンターの開梱

同梱品に不足がないかどうかを確認してください。

注意

- プリンターを開梱、または移動する場合は、必ず 4 人以上で作業してください。
- プリンターを梱包箱から取り出すときは、プリンターを包んでいるビニールを必ず外してください。ビニールを付けたままプリンターを持ち上げると、手を滑らせて製品を破損する原因になります。
- プリンターは水平の状態を保ったまま移動してください。



梱包の内容

プリンター本体：1	スタンド梱包箱：1	付属品箱：2	レールユニット (巻き取りユニット用)：1
スタートアップガイド (本書)：日 / 英 各 1	デイリーメンテナンスシート ：日 / 英 各 1	ユーザー登録と各種ダウンロードのお願い：1	インクパックケース 取扱説明書：日 / 英 各 1
インクカラーラベル：1			

スタンド梱包箱の内容

支柱 (左)：1	支柱 (右)：1	支柱つなぎ：1	脚：2
六角穴付きボルト：8	バネ座金：8	六角レンチ：1	ネジ：12
補強材：2	蝶ボルト：8	廃液タンク受け：1	

付属品箱の内容

廃液タンク：1	廃液バルブケース：1	フラッシングボックス：1	フランジ：2
クリーニングワイパー：3	ワイパー吸収材：3	廃液タンク遮光カバー：1	コードクランプ：3
リユースバンド：1	ネジ (M4x8)：2	ピンセット：1	ステンレスバット：1
ポリエチレン手袋：100	ゴム手袋：100	ゴーグル：1	クリーンスティック：50
プラスチックカップ：1	スポイト：2	ペーパータオル：5	VerteLith ライセンス
インクパックケース：4	駆動ユニット：1	従動ユニット：1	蝶ネジ：2
六角ネジ (M4x10)：8	六角ネジ (M4x16)：2	六角レンチ：1	レールキャップ：2
3 インチ紙管アダプター：2	ナット：2	差し込みクランプ：3	貼り付けクランプ：2

組み立て

スタンドの組み立て

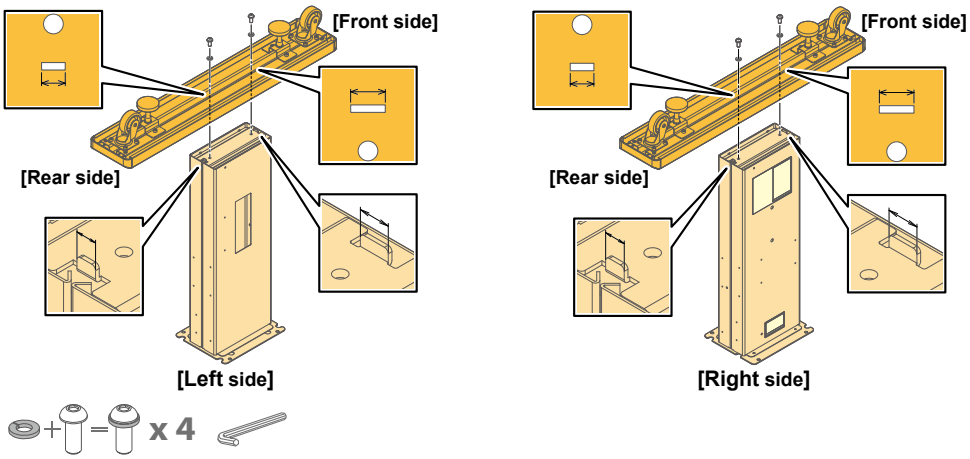
注意

スタンドを組み立てるときは、必ず 2 人以上で作業してください。

次の手順に従って、スタンドを組み立てます。

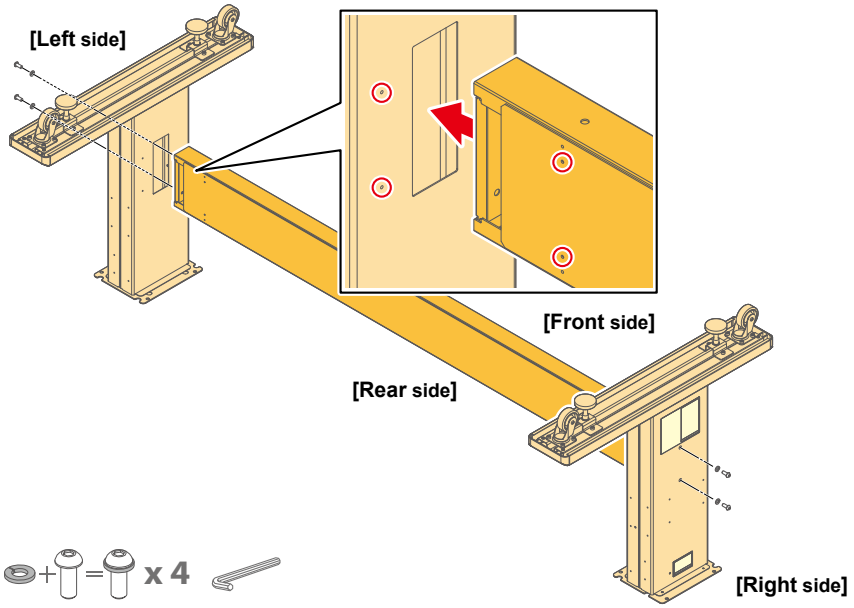
1 脚を支柱に取り付けます。

- 脚の切り欠きに支柱の突起を合わせます。切り欠きと突起のサイズが大きい方が正面側です。
- バネ座金を取り付けた六角穴付ボルト (各 2) で固定します。

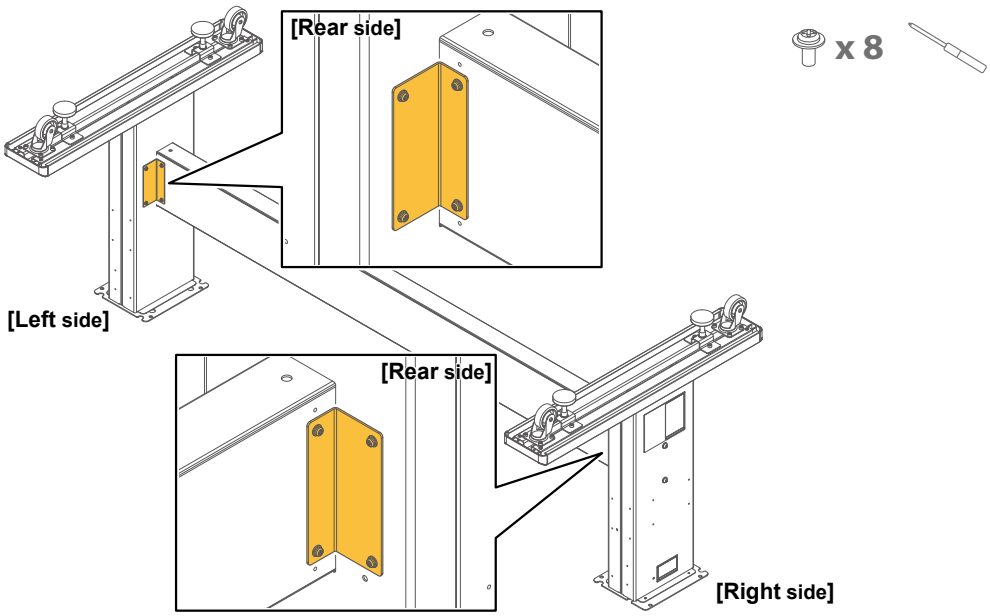


2 支柱つなぎを支柱に取り付けます。

- 支柱と支柱つなぎにネジ穴（赤丸箇所）がある方が背面側です。支柱に警告ラベルが貼られている方が右側です。
- バネ座金を取り付けた六角穴付ボルト (各 x2) で固定します。

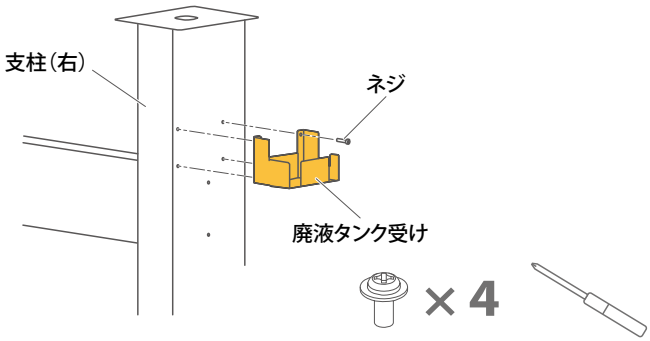


3 補強材 (x2) をネジ (各 4) で固定します。



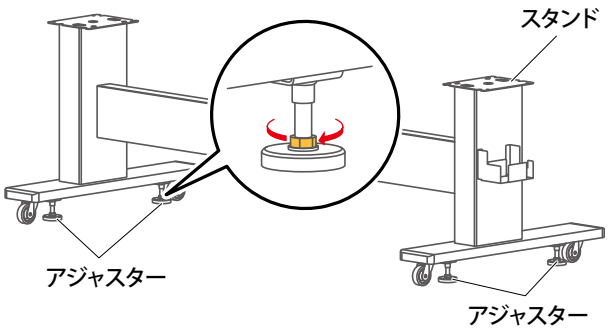
4 スタンドを上下回転します。

5 廃液タンク受けを支柱（右）にネジ (x4) で固定します。



6 スタンドを揺らすなどして、各部品がしっかり固定されているか確認します。

7 専用スタンドのアジャスター (x4) をイラストの方向に回転させ、専用スタンドを固定します。



プリンターの取り付け

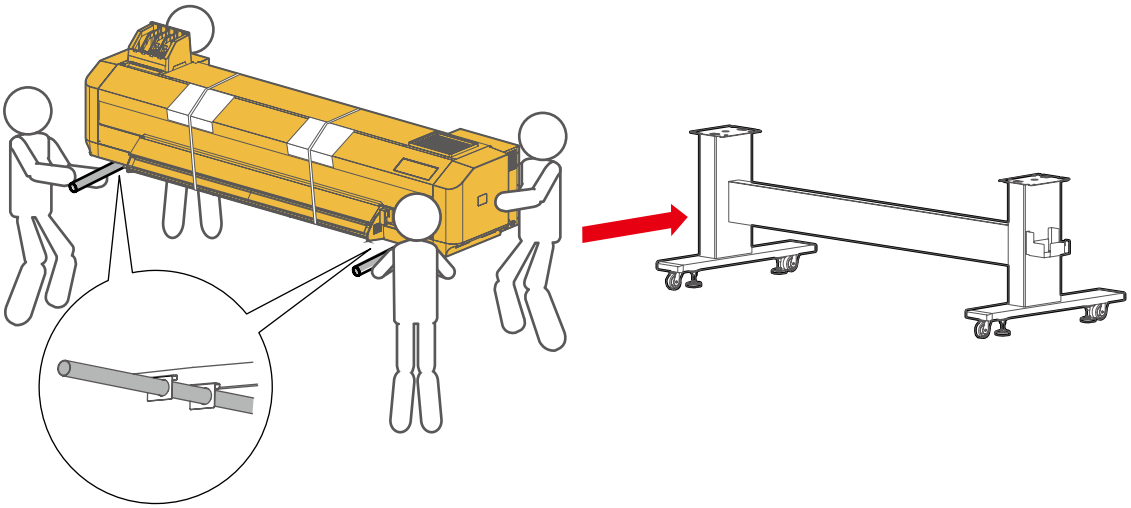
注意

- プリンターを開梱、または移動する場合は、必ず 4 人以上で作業してください。
- プリンターを梱包箱から取り出すときは、プリンターを包んでいるビニールを必ず外してください。ビニールを付けたままプリンターを持ち上げると、手を滑らせて製品を破損する原因になります。
- プリンターは水平の状態を保ったまま移動してください。

次の手順に従って、プリンタースタンドにを取り付けます。

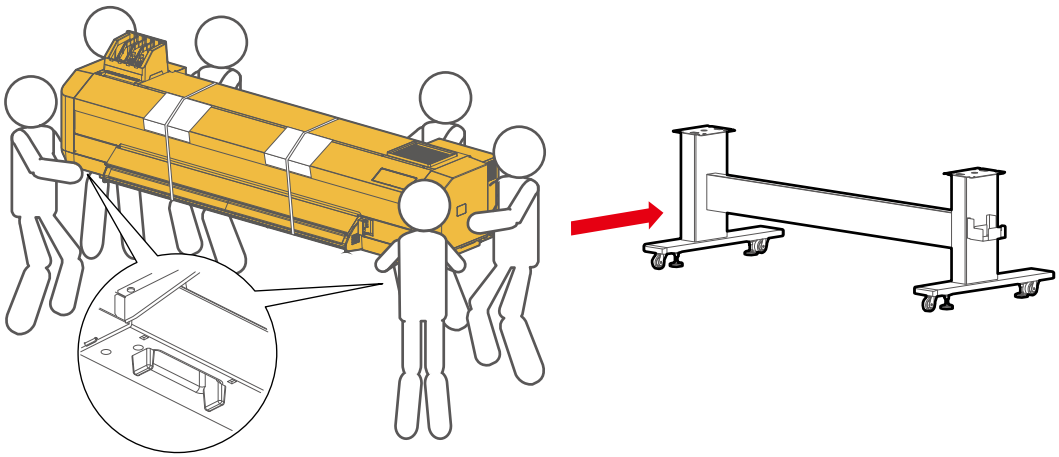
1 **プリンターを 4 人以上で持ち上げ、専用スタンドの上に載せます。**

- プリンターを持つときは、搬送棒をプリンター下部のガイド穴に通して、搬送棒を使って持ち上げます。

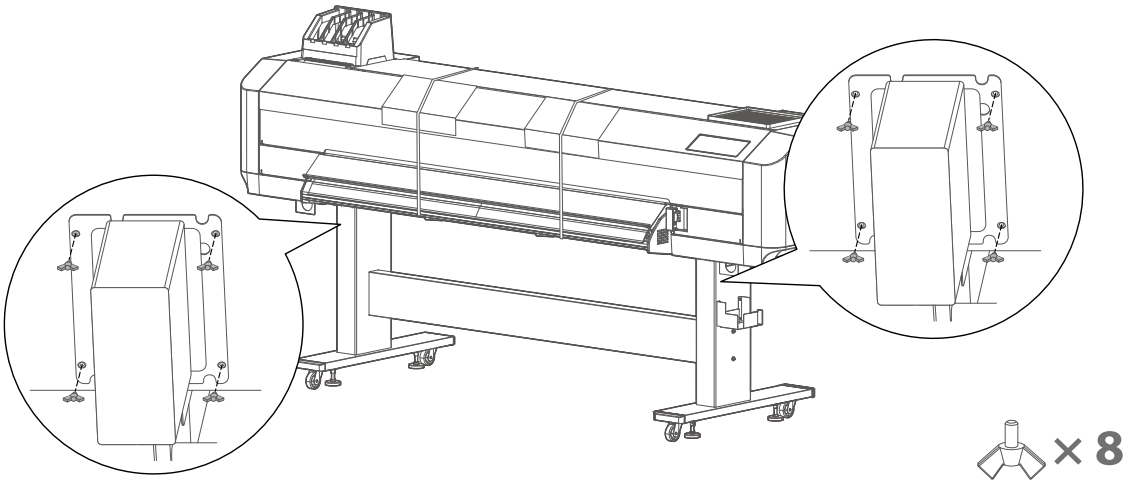


（搬送棒が準備できない場合）プリンターを 6 人以上で持ち上げ、専用スタンドの上に載せます。

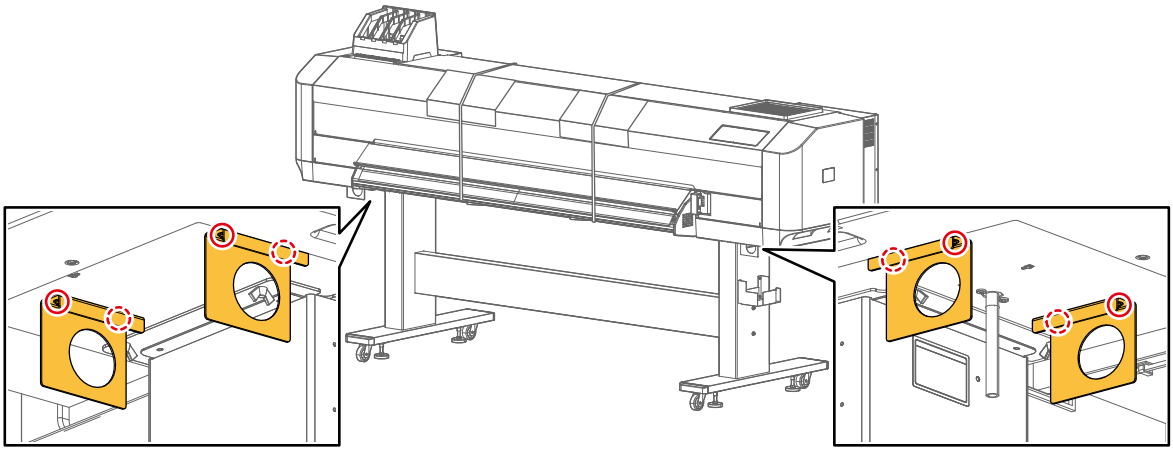
- プリンター前側を持つときは、下面のくぼみを利用します。



2 プリンターと専用スタンドを蝶ボルト (各 4) を使って固定します。



3 搬送用ガイド板（x4）を外します（ネジ x 各 2）。



4 搬送用ガイド板が取り付けてあったネジ穴（x8）を塞ぎます。

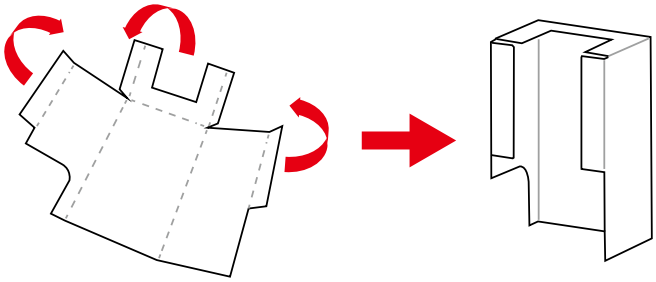
- 搬送用ガイド板を取り付けていたネジを使用してください。

Note

搬送用ガイドは保管してください。移設するときに再利用します。

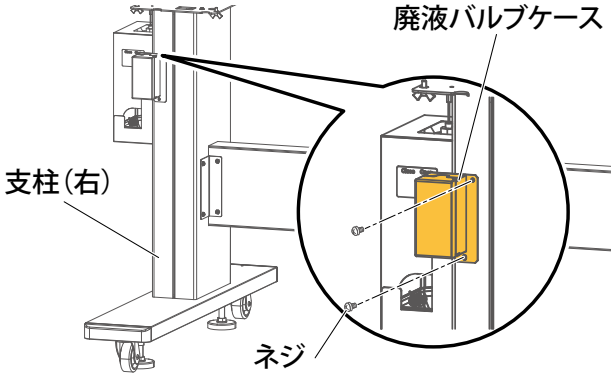
廃液タンクの取り付け

1 遮光カバーを組み立てます。



2 廃液バルブケースを取り付けます。

- 廃液バルブケースの板金を付属のネジ (x2) で固定します。



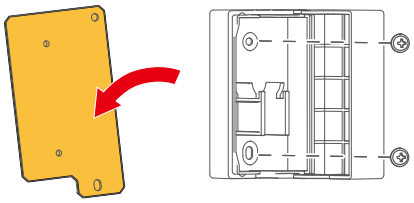
重量巻き取りユニット（オプション）を使用している場合

- ①廃液バルブケースの板金を取り外します。
- ②板金を外した廃液バルブケースを、イラストの位置に付属のネジ (x2) で固定します。

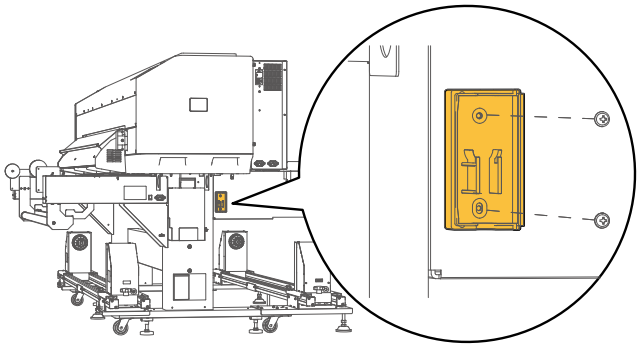
Note

廃液バルブケースから取り外した板金とネジは保管しておいてください。

①



②



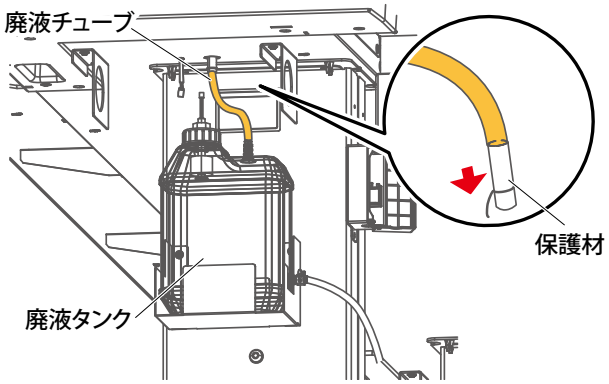
3 廃液タンク受けに、廃液タンクをのせます。

4 廃液タンクに廃液チューブを取り付けます。

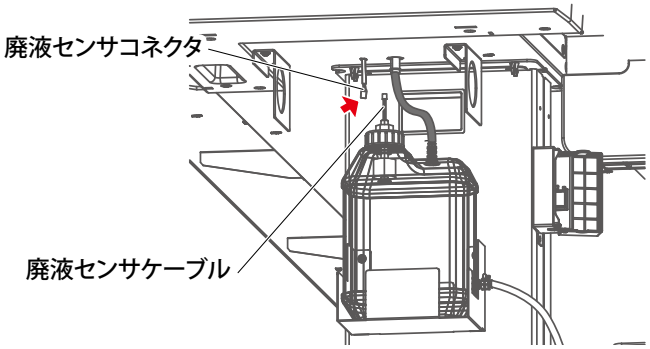
- 廃液チューブの保護材を引き抜いてから、廃液タンクに廃液チューブを差込みます。

Important!

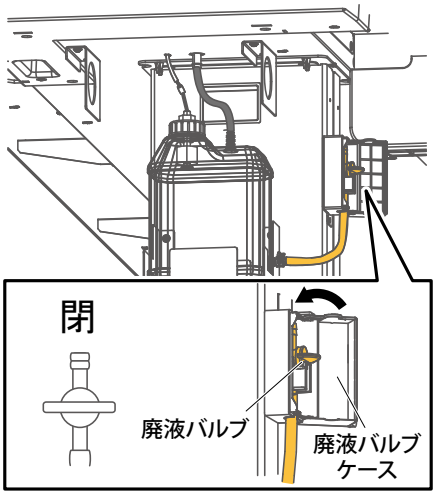
廃液チューブが、廃液タンクの口にしっかりと差し込まれていることを確認してください。しっかりと差し込まれていない場合、インク漏れが発生するおそれがあります。



5 廃液センサーケーブルを廃液センサーコネクタに差し込みます。

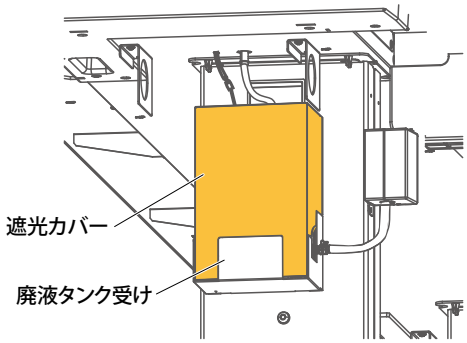


6 廃液バルブが閉じていることを確認し、廃液バルブケースに収納してカバーを閉じます。



7 遮光カバーを廃液タンクに取り付けます。

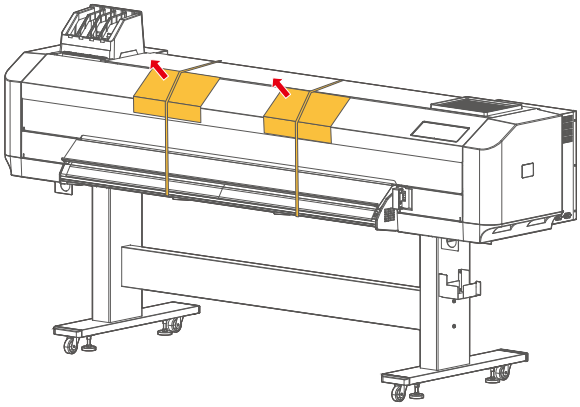
- 遮光カバーは、廃液タンク受けの内側に差し込みます。



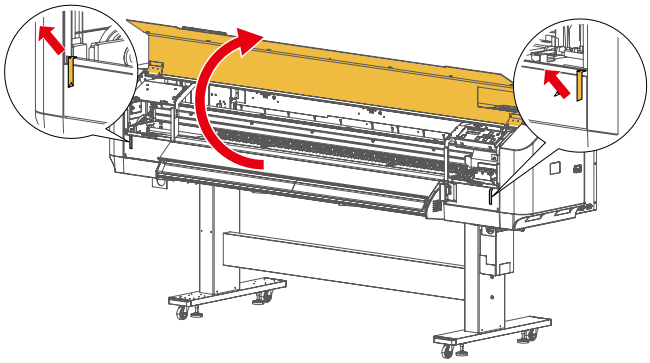
保護材の取り外し

次の手順に従って、プリンターの保護材を取り外します。

1 フロントカバーの保護材を取り外します。

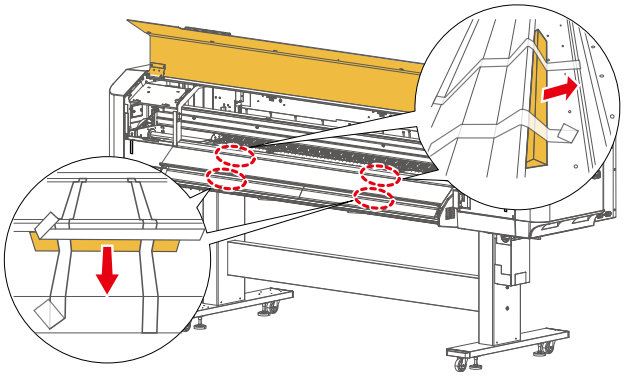


2 フロントカバーを開け、メンテナンスカバーのテープを剥がします。

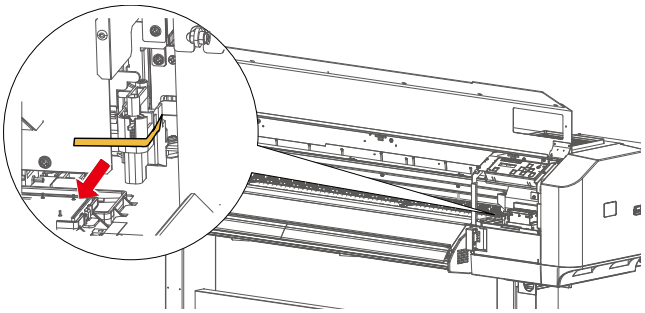


3 遮光カバー下の保護材を取り除きます。

- テープを剥がし、保護材を引き抜きます。
- 保護材は、遮光カバーの上側 2 か所、下側 2 か所の計 4 か所にあります。

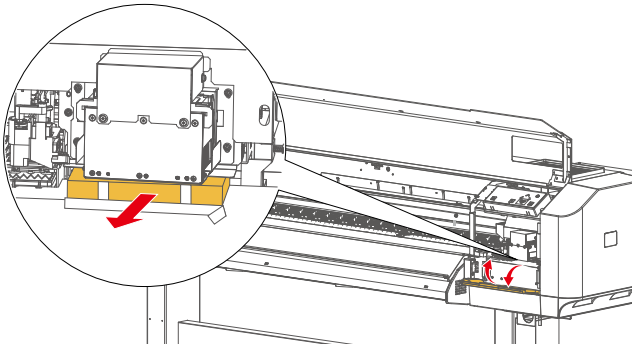


4 カッターキャップのテープを剥がします。



5 キャリッジ下の保護材を取り除きます。

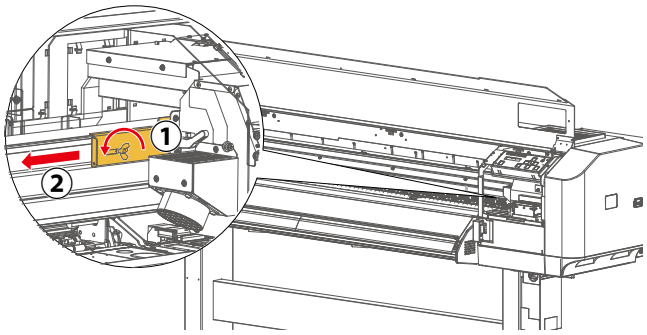
1. 右側のメンテナンスカバーを開けます。
2. テープを剥がし、キャリッジ下の保護材をゆっくりと引き抜きます。
3. 右側のメンテナンスカバーを閉じます。



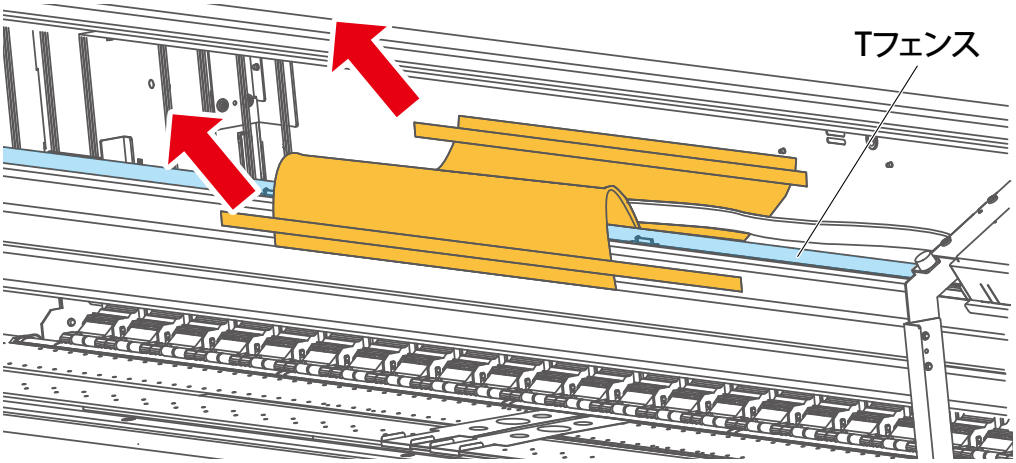
6 ツマミネジを取り外し、キャリッジ固定材を取り外します。

Important!

キャリッジ固定材とネジは、輸送するときに再利用しますので保管しておいてください。



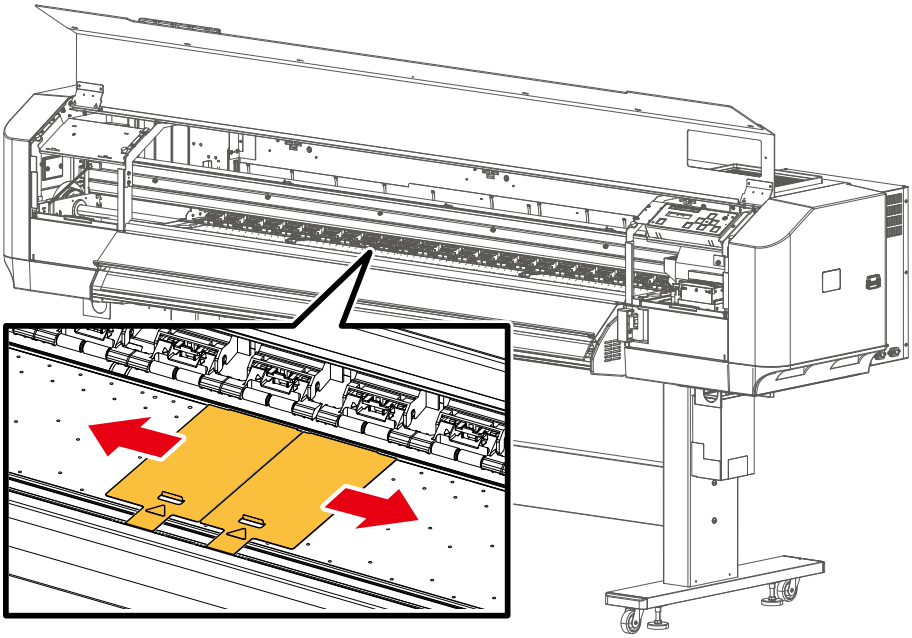
7 テープを剥がし、フロントカバー奥にある保護材を取り外します。



Important!

保護材を取り外す際に、T フェンス（透明な部品）には絶対に触れないでください。
T フェンスがゆがむと印刷品質に悪影響がでる場合があります。

8 テープを剥がし、エッジホルダーを左右の端に移動します。



9 各部に貼られているテープを全て剥がします。

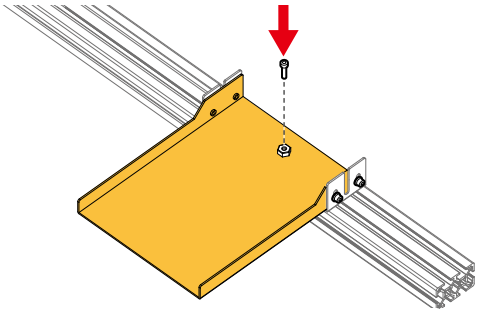
巻き取りユニットの接続

1. 巻き取りユニットの組み立て

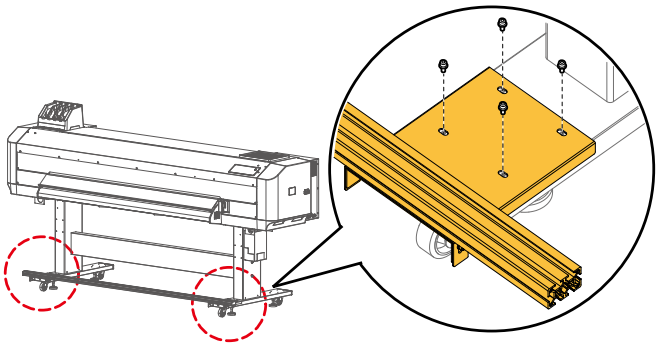
次の手順に従って、巻き取りユニットを組み立てます。

1 レールベースに六角ネジ 1 本 (M4x16) を取り付けます。止まるところまで手で回して取り付けてください。

- 反対側も同様に作業します。



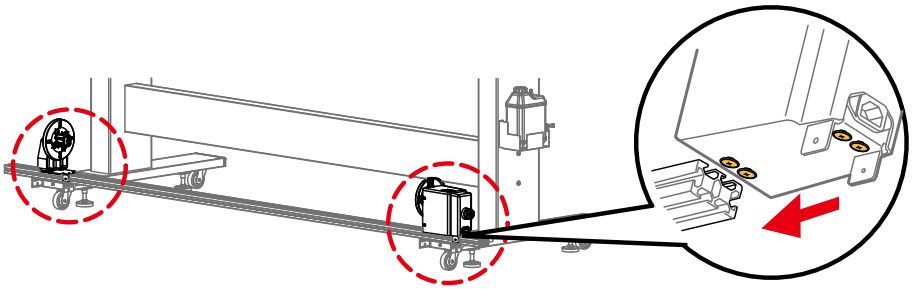
2 レールをスタンド前側にのせ、付属の六角レンチを使って六角ネジ 8 本 (M4x10) で固定します。



Important!

レールは、レールベースの付いている側が下になります。

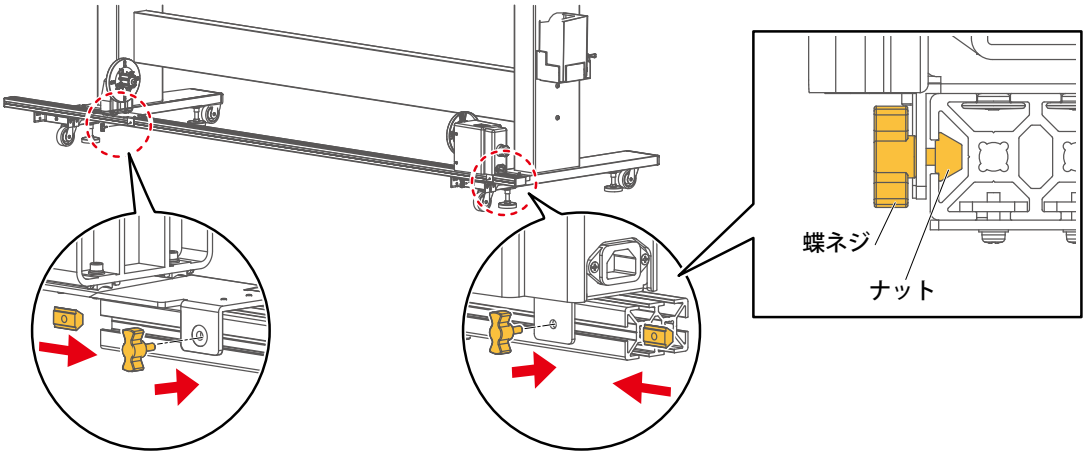
3 駆動ユニットと従動ユニット下部のネジ頭を、レールの側面の溝に入れてスライドします。



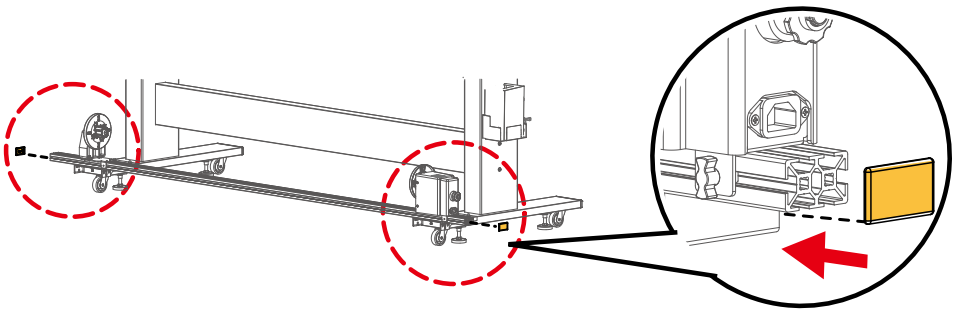
Important!

正面から見たとき、右側が駆動ユニット、左側が従動ユニットになるように取り付けます。

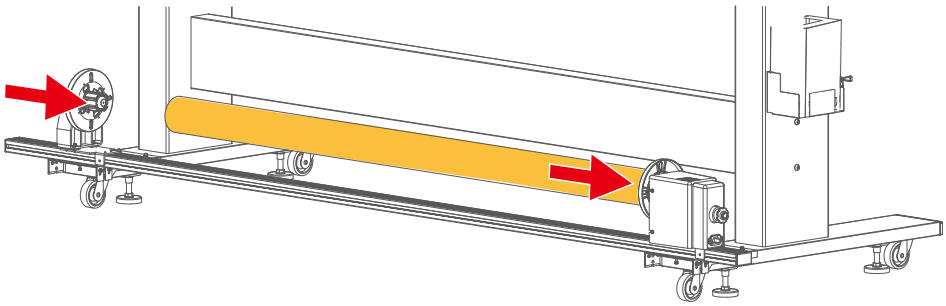
4 ナットをレールの側面の溝に入れます。
駆動ユニットと従動ユニットを、蝶ネジとナットでレールに固定します。



5 レールの両端に、レールキャップを取り付けます。



6 紙管を取り付けます。



Note

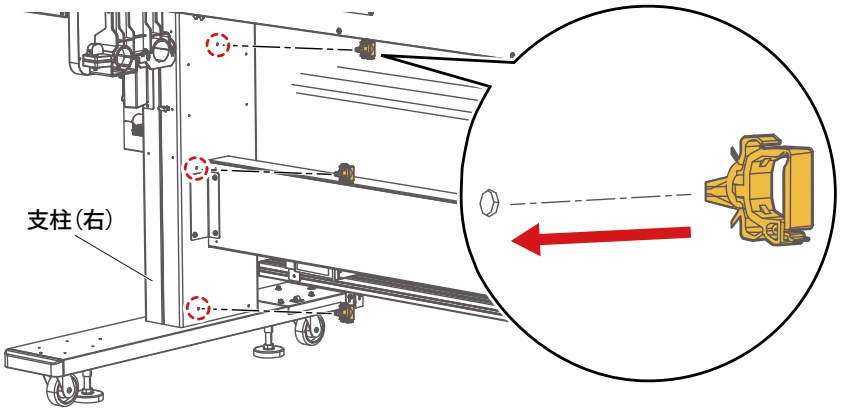
紙管は付属していません。

7 次に、巻き取りユニットのケーブルを接続します。

2. 巻き取りユニットのケーブルの接続

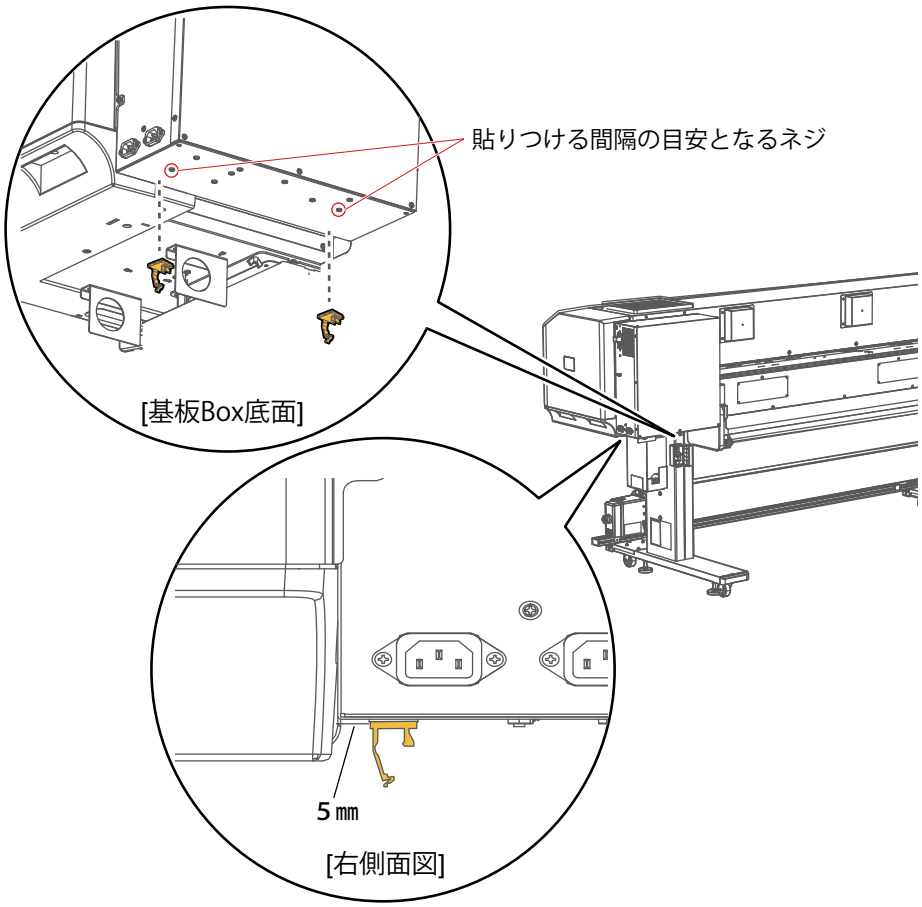
次の手順に従って、巻き取りユニットのケーブルをプリンターに接続します。

1 支柱（右）に差し込みクランプ (x3) を取り付けます。



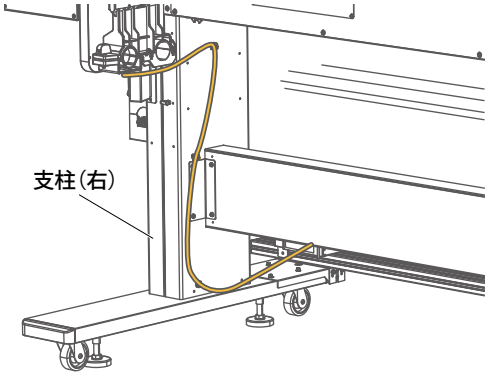
2 貼り付けクランプ (x2) を貼る位置を確認します。

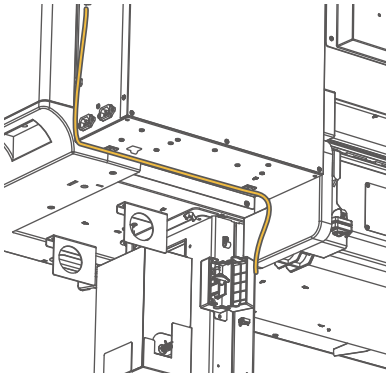
- 貼り付け箇所に油分などが残っていると、クランプが脱落する可能性があります。事前に工業用アルコールなどを使ってしっかりと拭き取ってください。



3 基板ボックスの底面に貼り付けクランプ (x2) を貼ります。

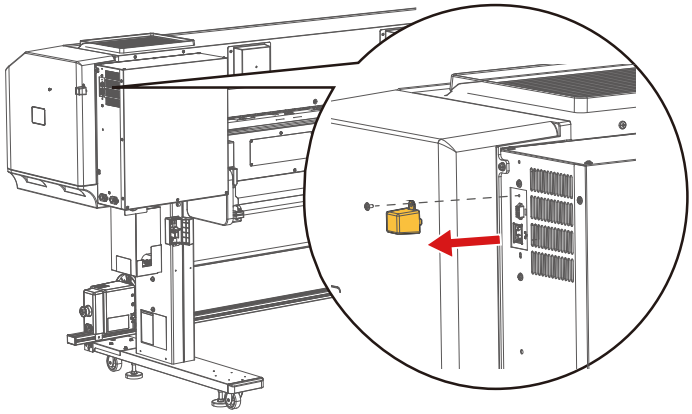
4 取り付けたクランプ (x5) に巻き取りユニットのケーブルを固定します。

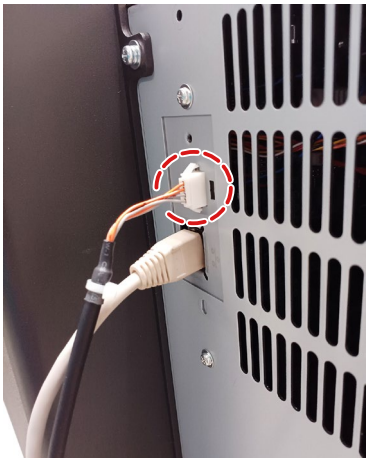




[基板Box底面]

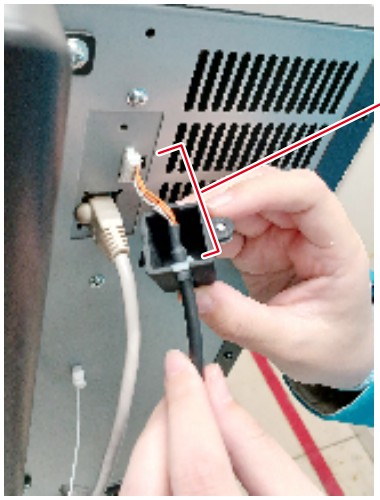
5 コネクターケースを外し、ケーブル先のコネクターをプリンターに接続します。

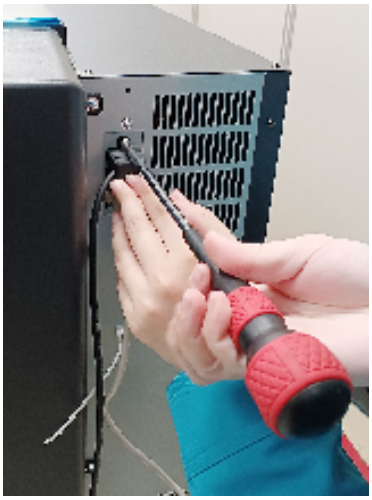




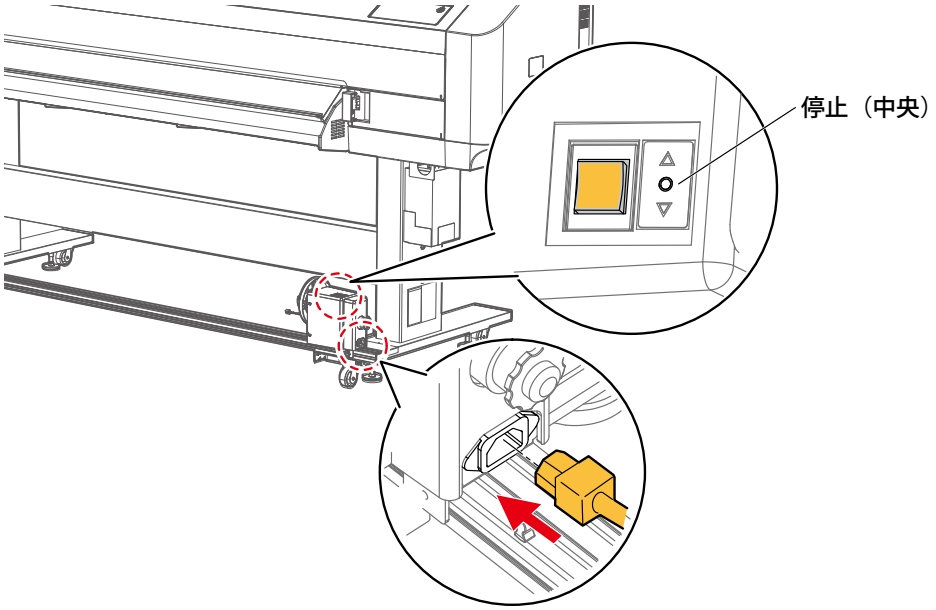
6 外したコネクターケースを取り付けます。

- ケーブルに巻かれている結束バンドまでをコネクターケース内に入れます。
- コネクターを覆うようにかぶせて、ネジで固定します。





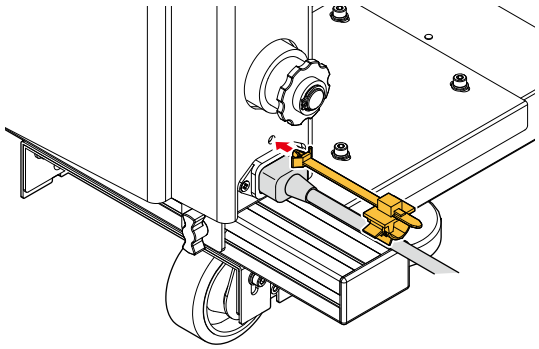
7 操作スイッチが停止（中央）になっていることを確認し、電源コードを接続します。



Note

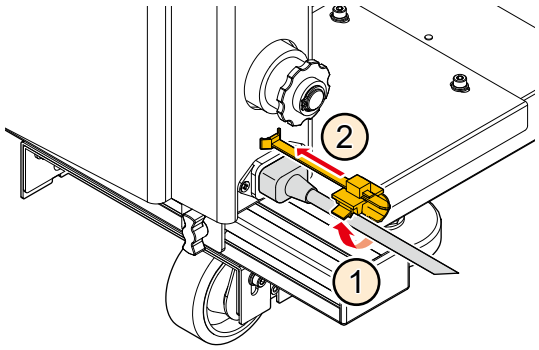
本製品には電源コードが同梱されていません。別売品をお買い求めください。

8 巻き取りユニットにコードクランプを取り付けます。



9 電源コードをコードクランプに固定します。

1. クランプに電源コードを通して、「カチッ」と音がするまで押し込んでください。
2. クランプをインレット方向にスライドさせてください。

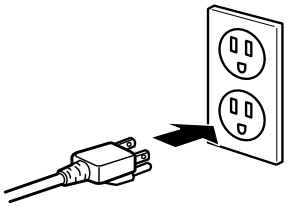


10 コンセントに電源プラグを接続します。

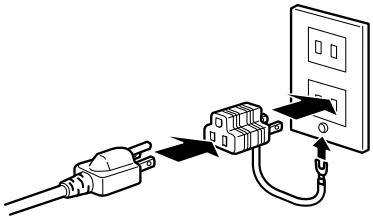
警告

- ケーブルタップを使用しないでください。
- 3 芯 2 芯変換コネクタプラグを使用する場合は、必ずアース線を接続してください。

3芯プラグを使用する場合



3芯2芯変換コネクタプラグを使用する場合



ケーブルの接続

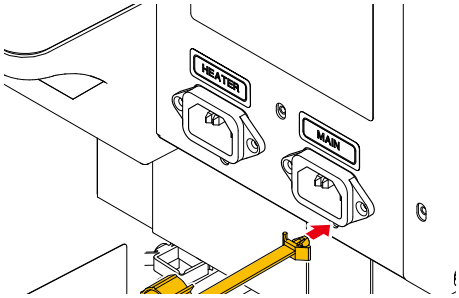
警告

すべての電源コードは、同じ電圧のコンセントに接続してください。
異なる電圧のコンセントに接続した場合、電気回路が破損するおそれがあります。

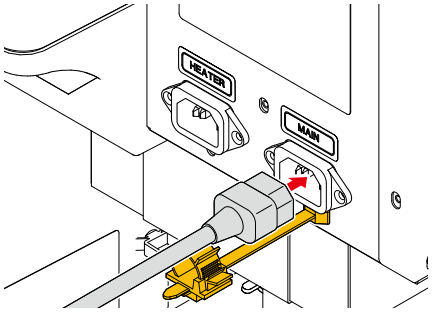
プリンターと電源コードの接続

1 フロントカバーが閉じていることを確認します。

2 プリンターにコードクランプを取り付けます。



3 プリンターのインレットに電源コードを接続します。

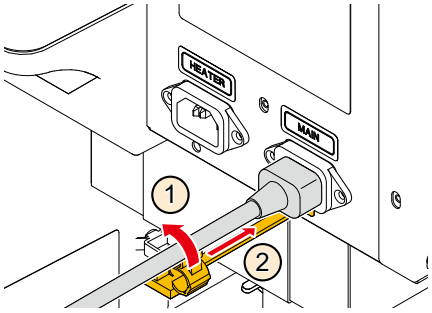


4 電源コードをコードクランプに固定します。

1. クランプに電源コードを通して、「カチッ」と音がするまで押し込んでください。
2. クランプをインレット方向にスライドさせてください。

Note

ヒーター側の電源コードも同様に接続してください。

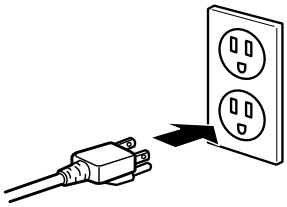


5 コンセントに電源プラグを接続します。

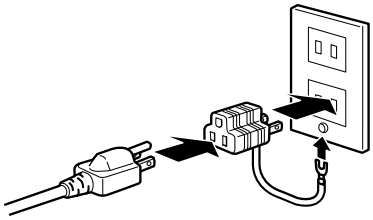
警告

- ケーブルタップを使用しないでください。
- 3 芯 2 芯変換コネクタプラグを使用する場合は、必ずアース線を接続してください。

3芯プラグを使用する場合

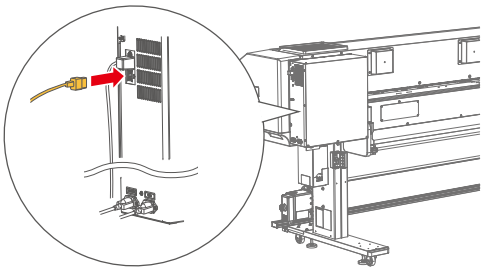


3芯2芯変換コネクタプラグを使用する場合

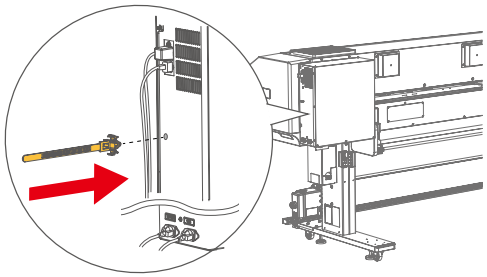


イーサーネットケーブルの接続

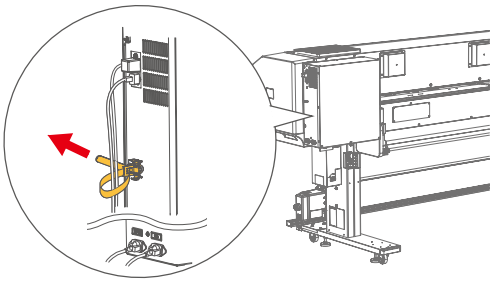
1 イーサネットケーブルをプリンターに接続します。



2 リユースバンドをプリンターに取り付けます。



3 イーサネットケーブルと巻き取りユニットケーブルをリユースバンドでプリンターに固定します。



警告

本製品は、複数の電源コードを使用しています。電源コードのプラグをコンセントから抜くときは、すべてのプラグを抜いてください。感電のおそれがあります。

セットアップ

セットアップの流れ

以下のフローに従って、セットアップします。

Step1 初期設定

プリンターコントロールパネルの表示言語、単位、本製品のネットワークを設定します。

↓

Step2 アクティベーション

本製品のアクティベーションを、プリンターコントロールパネルで実施します。

↓

Step3 初期充填準備

↓

Step4 初期洗浄～初期充てん

本製品にインクパックケースを取り付け、プリントヘッドをインクで満たします。

↓

メディアをセットする

ノズルチェックを印刷するメディアをセットします。

↓

ノズルチェックをする

ノズルチェックを印刷します。ノズルの目詰まりがある場合はヘッドクリーニングをします。

↓

MUTOH Status Monitor のインストール

プリンターの IP アドレスを、プリンターコントロールパネルで入力します。
MUTOH Status Monitor (MSM) をインストールして、MSM から設定します。

↓

セットアップ完了！

プリンターコントロールパネルの使い方

プリンターコントロールパネルはタッチパネルになっており、操作が有効なキーが発光するようになっています。

- タップ：キーに軽く触れて、すぐに指を離します。
- ロングタッチ：キーに触れた状態を保ちます。

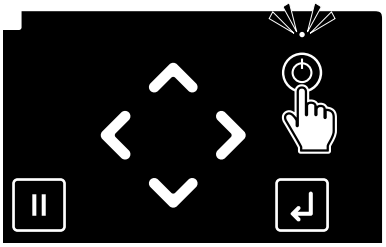
Step1 初期設定

プリンターを起動して、ディスプレイ表示を設定します。

1 フロントカバーが閉じていることを確認します。

2 プリンターコントロールパネルの電源ボタンを 2 秒以上押します。

- 電源ボタン上部の LED および各キーが点灯します。
- 初期動作を開始します。



Note

- LED が点灯したら、電源ボタンから指を離してください。
- 初期動作中は巻き取りユニットが回転します。

3 パネルに表示する言語を選択します。

- 初回起動時は「Language：English」が表示されます。
- ∧ / ∨キーで言語を選択し、↵ ([Enter] キー) をタップします。

4 温度の単位を選択します。

- 「オンド：Celsius[° C]」が表示されます。
- ∧ / ∨キーで温度の単位を選択し、↵ ([Enter] キー) をタップします。

5 長さの単位を選択します。

- 「ナガサ：mm」が表示されます。
- ∧ / ∨キーで長さの単位を選択し、↵ ([Enter] キー) をタップします。

6 本製品の IP アドレスを設定します。

- ∧ / ∨キー：設定値を増減させます。
- ＜キー：カーソルが前の設定値に移動します。
- ＞キー：カーソルが次の設定値に移動します。

入力後、↵ ([Enter] キー) をタップします。

7 本製品のサブネットマスクを設定します。

- ∧ / ∨キー：設定値を増減させます。
- ＜キー：カーソルが前の設定値に移動します。
- ＞キー：カーソルが次の設定値に移動します。

すべての設定値を入力してください。入力後、↵ ([Enter] キー) をタップします。

8 本製品のゲートウェイを設定します。

- ∧ / ∨キー：設定値を増減させます。
- ＜キー：カーソルが前の設定値に移動します。
- ＞キー：カーソルが次の設定値に移動します。

すべての設定値を入力してください。入力後、↵ ([Enter] キー) をタップします。

9 本製品が初期動作を開始します。

Step2 アクティベーション

プリンターコントロールパネルに従って、アクティベーションを実施します。

右のメッセージが表示されたら、以下のいずれかの方法でアクティベーションを実施します。

☞「プリンターコントロールパネルから設定する場合」P.46
☞「インターネットから設定する場合」P.46

アクティベーション ヲ シテクダサイ

Note

上記メッセージを表示中、([Home] キー) タップすると、IP アドレスなどの初期設定をやり直すことができます。

プリンターコントロールパネルから設定する場合

1 「アクティベーション ヲ シテクダサイ」が表示されたら、([Enter] キー) をタップします。

- 「0000-0000-0000-0000」が表示されます。

2 16 桁のアクティベーションコードを入力します。

- ⌃ / ⌄キー：設定値を増減させます。
- ‹キー：カーソルが前の設定値に移動します。
- ›キー：カーソルが次の設定値に移動します。

入力後、([Enter] キー) をタップします。

Note

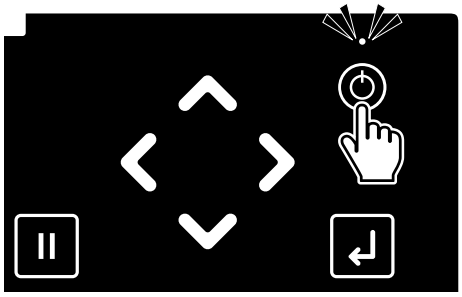
アクティベーションコードは販売店から E メールなどで入手してください。

3 右のメッセージが表示されたら、電源ボタンを 2 秒以上押して、電源をオフにします。

- 「デンゲン シャダンチュウ」のメッセージが表示されたら、電源ボタンを離してください。

しばらく待ってから電源ボタンを 2 秒以上押して、再起動します。

アクティベーション セイコウ!
プリンタ ヲ サイキドウ



インターネットから設定する場合

右のメッセージが表示されたら、「プリンタ・アクティベーションガイド」に従ってアクティベーションを実施してください。

アクティベーション ヲ シテクダサイ

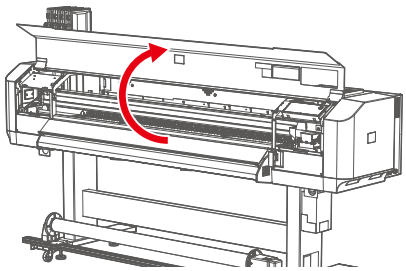
Note

「プリンタ・アクティベーションガイド」とアクティベーションコードを入手するには、以下の URL から MUTOH Club にアクセスし、「登録」をクリックしてユーザー登録を完了してください。
https://mutoh-club.com/mutoh/guser/

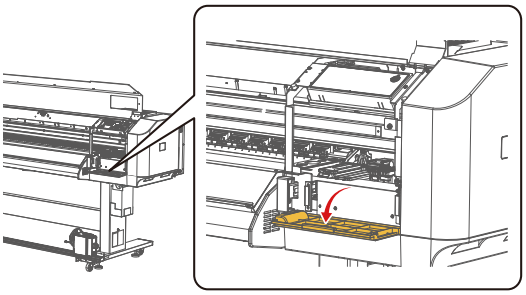
Step3 初期充填準備

メンテナンス液を注入する

1 フロントカバーを開きます。

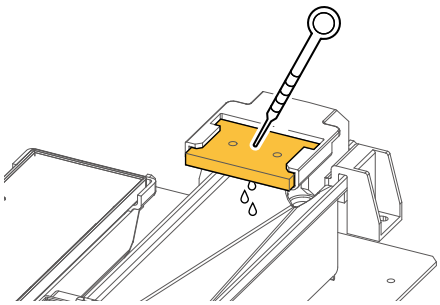


2 右側のメンテナンスカバーを開きます。



3 ワイパー吸収材にメンテナンス液を充てんします。

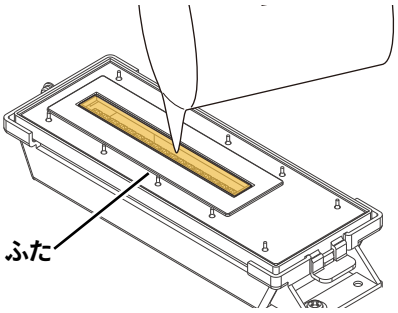
- 吸収材全体にメンテナンス液が染みわたり、下のワイパートレイに垂れ落ちるまで充てんします（目安：10ml）。



4 フラッシングボックスにメンテナンス液 20ml を充てんします。

Important!

ファンによる液体の飛散を防ぐため、フラッシングボックスのふたの上にメンテナンス液がこぼれた場合は、ペーパータオルなどで拭き取ってください。



5 メンテナンスカバーを閉じてから、フロントカバーを閉じます。

6 ([Enter] キー) をタップします。

- キャリッジがホームポジションに戻ります。

Step4 初期洗浄～初期充てん

必要なもの：
- 洗浄パック：4 本
- インクパック：4 本（ブラック、シアン、マゼンタ、イエロー）
- インクパックケース：4 つ

Important!
- 洗浄パックとインクパックは、新しいもの使用してください。
- ヘッドの高さは出荷状態（Low）のまま、初期洗浄と初期充てんを実施してください。

1. 初期洗浄

1 「インクジュウテン　カイシ　->Enter」が表示されたら、↵ ([Enter] キー) をタップします。

Note

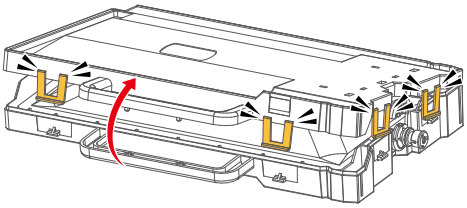
「インクジュウテン　カイシ　->Enter」を表示中、⌂ ([Home] キー) をタップすると、IP アドレスなどの初期設定をやり直すことができます。

- （パックがセットされている場合）ディスプレイに「パック ヲ ヌイテクダサイ」が表示されたら、すべてのインクパックケースとスマートチップカードを取り外します。
- 「ヘッドセンジョウチュウ」が表示され、洗浄を開始します。
- 「センジョウパック ヲ セット」が表示されます。

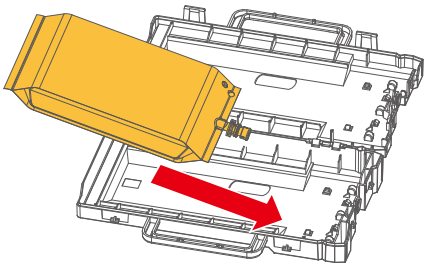
2 インクパックケースの留め具 (x4) を外し、インクパックケースを開きます。

Important!

留め具を外すときは、無理な力を加えないでください。留め具が破損する原因となります。



3 インクパックケースに洗浄パックを取り付けます。

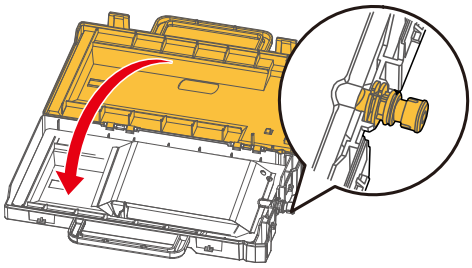


4

- インクパックケースを閉じます。

Important!

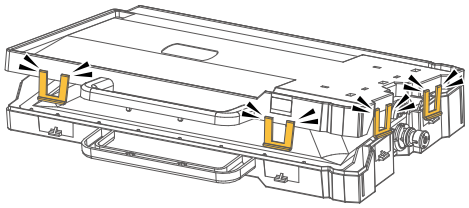
洗浄パックの口が固定されていることを確認してください。固定されていない場合、洗浄パックが正しく認識されません。



- インクパックケースの留め具 (x4) をしっかりと固定してください。

Important!

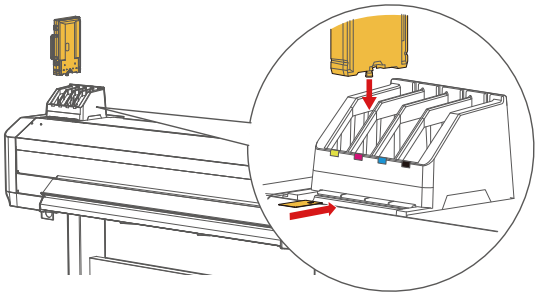
留め具がすべて固定されていることを確認してください。固定されていない場合、洗浄液が漏れるおそれがあります。



5

インクパックケースとスマートチップカードをインクスロットに差し込みます。

- インクパックケースの留め具が手前にある状態で差し込みます。
- 奥までしっかり差し込んでください。



6

ディスプレイに「ヘッドセンジョウチュウ」が表示され、洗浄液の充てんを開始します。

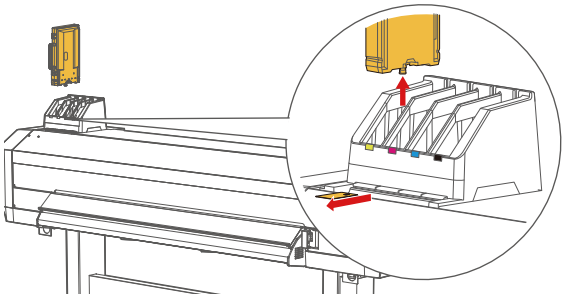
7

洗浄液の充てんが終了すると、ディスプレイに「パック ヲ ヌイテクダサイ」が表示されます。

8

インクパックケースとスマートチップカードを取り外します。

- 洗浄パックとスマートチップカードの対応関係が分かるように保管します。



ディスプレイに「ヘッドセンジョウチュウ」が表示され、洗浄液の排出を開始します。

9

「センジョウパック ヲ セット」が表示されたら、手順 5-8 を繰り返します。

2. 廃液タンクを空にする

警告

- 廃液は直射日光を避け、冷暗所に保管してください。
- 廃液は火気や高温のものから遠ざけてください。
- 廃液は HDPE 製かつ、遮光性がある容器で保管してください。
- 廃液を長期保管する場合は、完全密封とせず容器に通気口を設けてください。
- 少量の廃液であっても、他の物質と混合しないでください。他の物質（酸化剤など）と混合すると、発熱の原因となります。

注意

- インクおよび廃液が皮膚や目に付着すると、炎症やアレルギー反応を起こす場合があります。作業するときは、必ず付属の手袋（もしくは耐溶剤性の手袋）とゴーグルを着用し、インクや廃液が付着しないように注意してください。

1 洗浄液の排出が終了すると、右のメッセージが表示されます。

ハイエキ ヲ ステテ、
Enterキー ヲ タップシテクダサイ

2 廃液を移し替える容器を用意します。

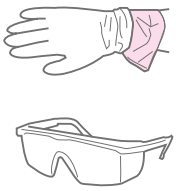
Important!

廃液タンクの容量は 2,000ml です。廃液を移し替える十分な容量の容器を用意してください。

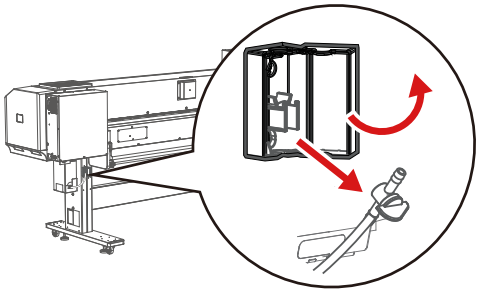
3 不要なメディアなどを廃液タンクの下の床に敷きます。

4 保護具を着用します。

1. ポリエチレン手袋の上にゴム手袋を重ねて着用します。
2. ゴーグルを着用します。



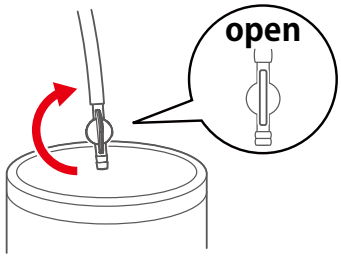
5 廃液バルブケースのカバーを開き、廃液バルブを取り外します。



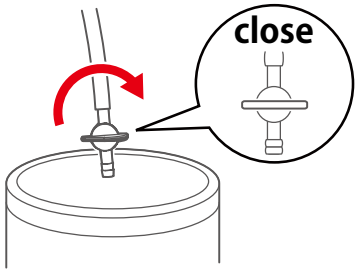
6 廃液バルブの先端を容器に入れて、廃液バルブを開いて廃液を移します。

Important!

廃液を容器に移し替えるときに、廃液が飛び散るおそれがあります。廃液バルブの先端を確実に容器に入れてください。

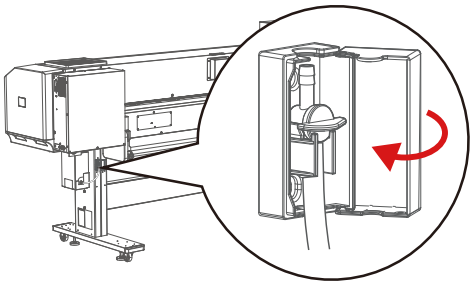


7 廃液を空容器に移し替えたら、廃液バルブを確実に閉めます。



8 廃液バルブの口に付いているインクを乾いた布で拭き取ります。

9 廃液バルブを廃液バルブケースに収納し、カバーを閉じます。



10 廃液の処理が終了したら、↵ ([Enter] キー) をタップします。

11 再度洗浄するかしないかを選択して、↵ ([Enter] キー) をタップします。

```
センジョウ シマスカ?
                イイエ
```

```
センジョウ シマスカ?
                ハイ
```

警告

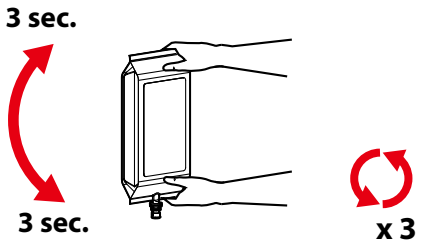
- 廃液は、産業廃棄物の廃油（廃インキ）に該当します。廃棄物処理法および各自治体の条例に基づき、適正な廃液処理が義務付けられます。廃液処理業者に処理を委託してください。
- 本製品から出る廃液は水生生物に対し有害です。生活排水や自然水系への流出を防いでください。

3. インクの初期充てん

1 右のメッセージが表示されます。

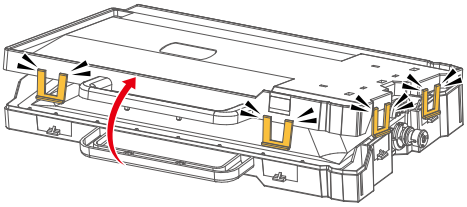
2 新しいインクパックを用意し、インクをかくはんします。

- 差し込み口を上に向けて 3 秒待ちます。
- 次に差し込み口を下に向けて 3 秒待ちます。
- 上記を 3 回繰り返します。



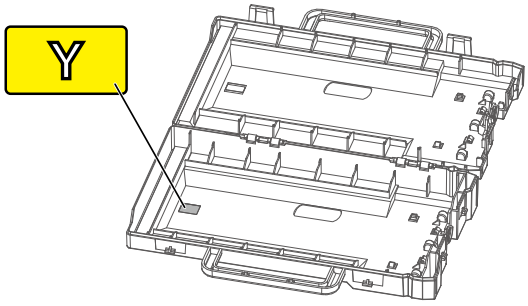
3 インクパックケースの留め具 (x4) を外し、インクパックケースを開きます。

> **Important!**
>
> 留め具を外すときは、無理な力を加えないでください。留め具が破損する原因となります。

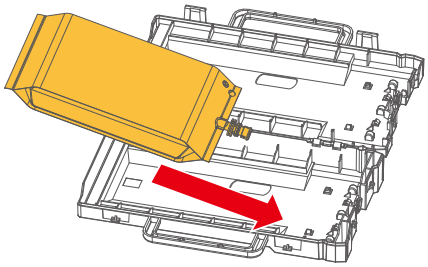


4 インクパックケースを開いて、インクラベルを貼ります。

> **Note**
>
> - インクラベルはプリンター本体の付属品の中に入っています。
> - インクパックケース内側のラベル貼り付け位置（イラストのへこみ部分）にインクラベルを貼ります。



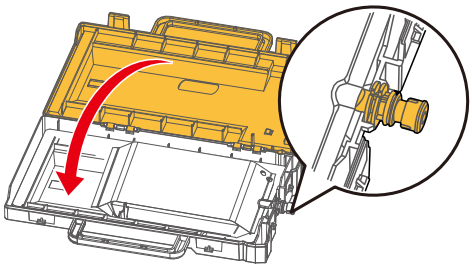
5 インクパックケースにインクパックを取り付けます。



6 インクパックケースを閉じます。

Important!

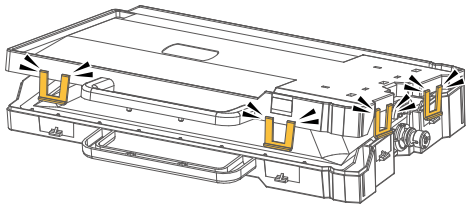
インクパックの口が固定されていることを確認してください。固定されていない場合、インクパックが正しく認識されません。



インクパックケースの留め具 (x4) をしっかりと固定してください。

Important!

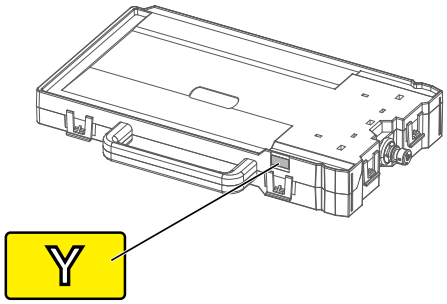
留め具がすべて固定されていることを確認してください。固定されていない場合、インクが漏れるおそれがあります。



7 インクパックケースの外側にインクラベルを貼ります。

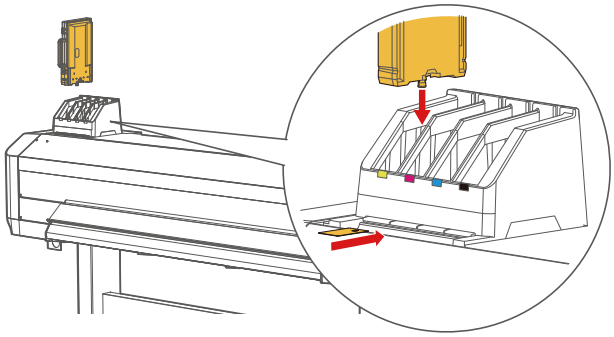
Note

- インクパックケース外側のラベル貼り付け位置（イラストのへこみ部分）にインクラベルを貼ります。
- ケース内側に貼ったラベルと色を合わせてください。



8 **インクパックケースとスマートチップカードを差し込みます。**

- プリンターのインク色表示ラベルとインクパックのラベルの色を合わせてください。
- インクパックケースの留め具が手前にある状態で差し込みます。
- 奥までしっかり差し込んでください。



「インクジュウテンチュウ **%」が表示されます。

- インク充てんを開始します。

注意

インク充てん中は、次の動作をしないでください。

- **製品の電源をオフにする**
- **製品の電源コードを抜く**
- **フロントカバーやメンテナンスカバーを開ける**
- **加圧アームを上げる**
- **プリンターを移動する**

9 **インク充てんが終了すると、右のメッセージが表示されます。**

```
メディア ナシ
PG: Low
```

テスト印刷

メディアをセットする

Important!

メディアに合わせて、2 人以上で作業することをおすすめします。

次の手順に従って、メディアをプリンターにセットします。

1. フランジをメディアに取り付ける

必要なもの：
- メディア：1 本
- フランジ：2 個

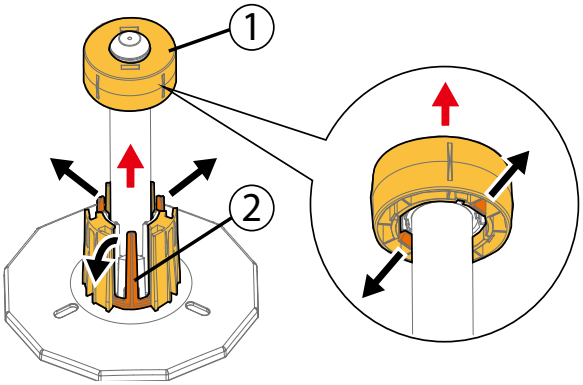
1 用途に応じて、フランジのアダプターを変更します。

■紙管の内径が 2 インチのメディアを使用する場合

フランジから 3 インチアダプターを取り外します。
- ①：アダプターのツメ (x2) を開いて、フランジから引き抜きます。
- ②：アダプターのツメ (x3) を開いて、フランジから引き抜きます。

Note

- ②のアダプターが外れない場合は、フランジのハンドルを反時計回りに回転させて（手順 2 を参照）、緩めてから再度実施してください。
- 内径が 3 インチのメディアを使用する場合は、この手順は実行しないでください。

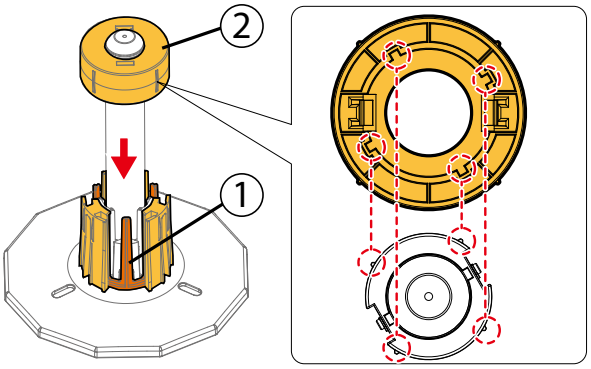


■紙管の内径が 3 インチのメディアを使用する場合

フランジに 3 インチアダプターを取り付けます。
- ①：フランジの根本の切り欠きにアダプターのツメ (x3) を合わせて取り付けます。
- ②：フランジ先端の突起 (x4) にアダプター内側の切り欠き (x4) を合わせて取り付けます。

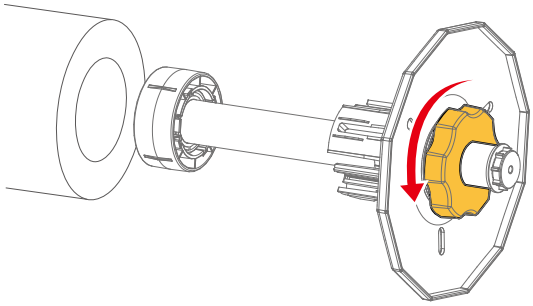
Note

②のアダプターの位置を合わせずに取り付けた場合、アダプターが固定されません。



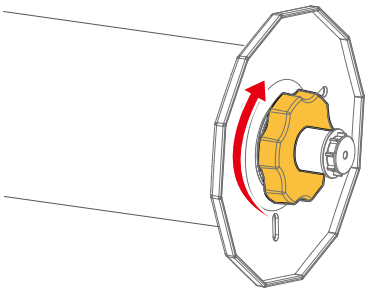
2 メディア両端にフランジ (x2) を取り付けます。

- フランジのハンドルを反時計回りに回転させて、メディアに取り付けられる状態にします。



3 フランジのハンドルを時計回りに回転させて、フランジを固定します。

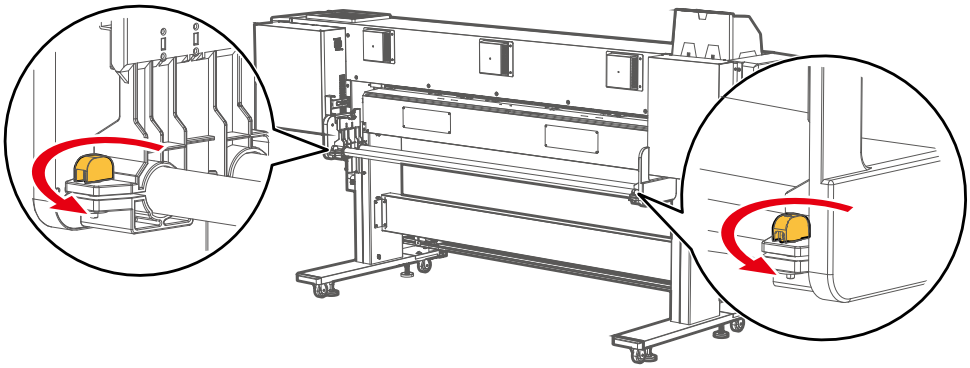
> **Important!**
>
> メディアがしっかりと固定されていることを確認してください。固定が甘い場合、印刷中にメディアがフランジから外れ、印刷品質に影響を与えるおそれがあります。



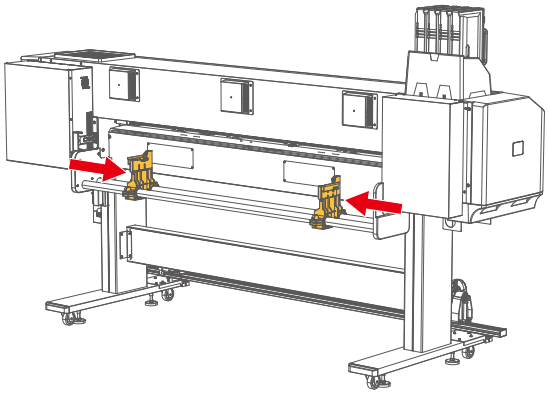
2. ロール紙受けのトルクを設定する

ロール紙受けにトルクを設定するには、次の手順で実施します。

1 左右のロール紙受けのノブボルトを反時計回りに回転させて緩めます。

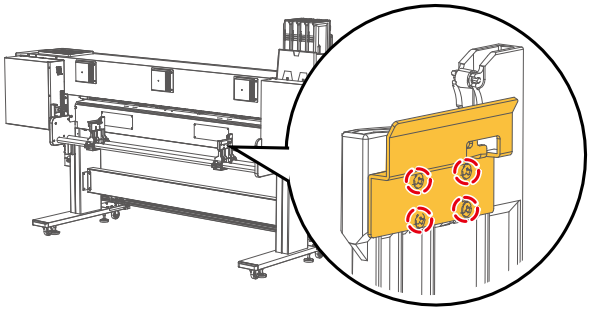


2 左右のロール紙受けをプリンターの中央に向かって 30cm ほど動かします。

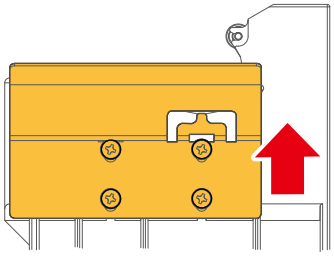


3 左右のロール紙受けのノブボルトを締めます。

4 背面から向かって右側のロール紙受けにあるロール軸ガイドのネジをドライバーで緩めます。

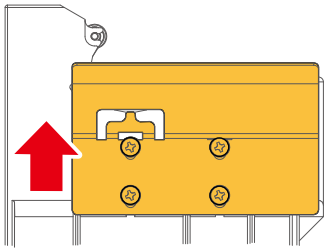


5 ロール軸ガイドを上にずらして、突き当たったところでネジを締めます。



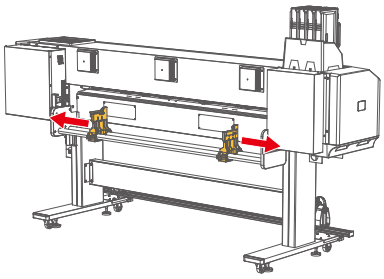
ロール軸ガイド（右）

6 左側のロール紙受けにあるロール軸ガイドも、同様にずらしてからネジを締めます。

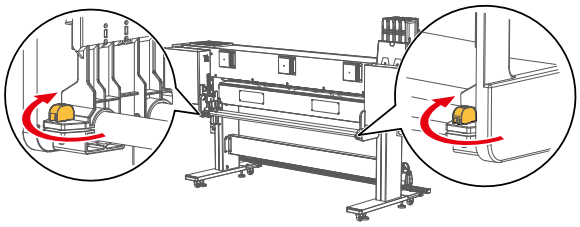


ロール軸ガイド（左）

7 左右のロール紙受けのノブボルトを緩め、左右のロール紙受けの位置を元に戻します。

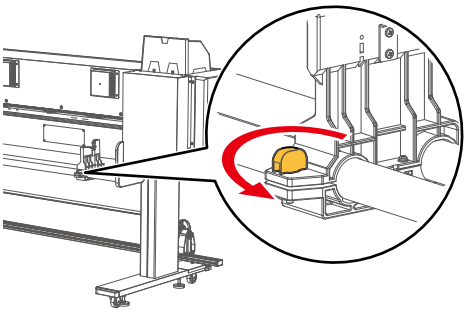


8 左右のロール紙受けのノブボルトを締めます。



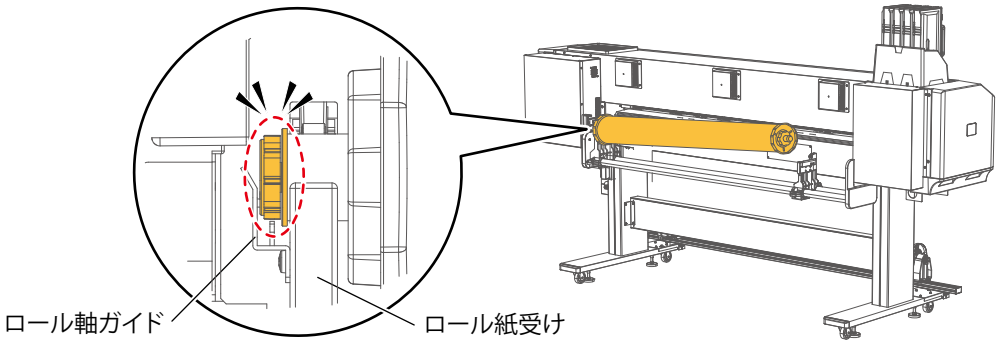
3. ロール紙受けにメディアを取り付ける

1 右側のロール紙受けのノブボルトを反時計回りに回転させて緩めます。



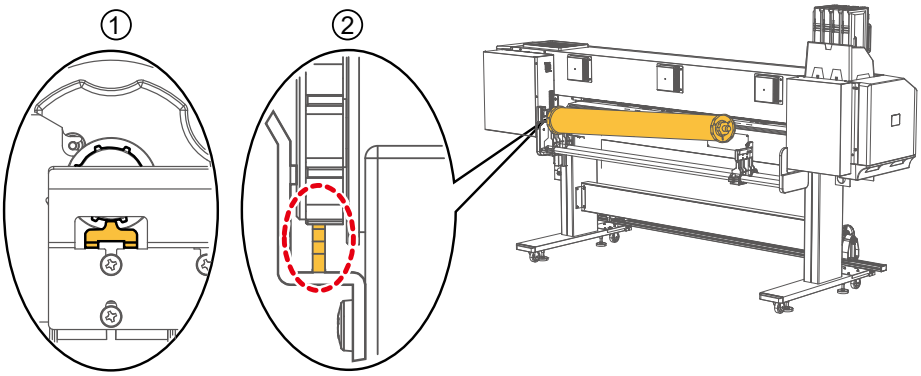
2 メディアを左側のロール紙受けに取り付けます。ゆっくりと丁寧に取り付けてください。

- フランジの先をロール軸ガイドとロール紙受けの間にセットします。



トルクを設定した場合は、続けて下記を確認します。

- ①：真横から見て、ロール軸ガイドの突起が、フランジ先の突起と突起の間にはまっていることを確認します。
- ②：背面から見て、ロール軸ガイドの突起が、フランジ先にセットされていることを確認します。

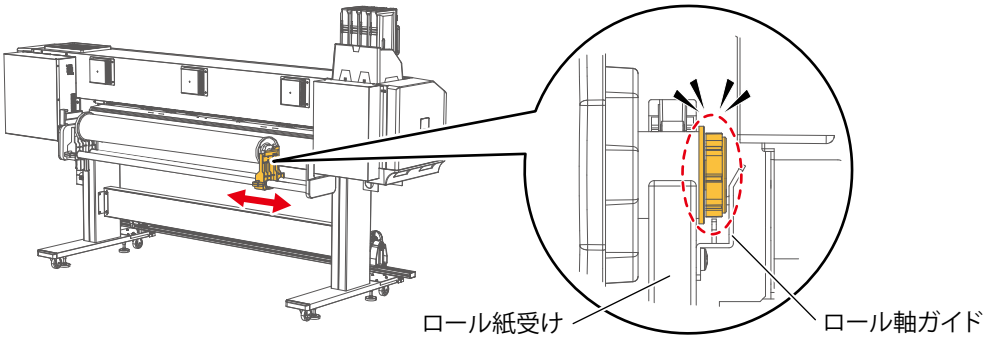


Important!

- メディア取り付けの際に強い衝撃を与えると、部品が破損するおそれがあります。
- ロール紙受け（左）を動かす場合は、左端から 450mm 以上右に動かさないでください。メディアの検出ができなくなります。

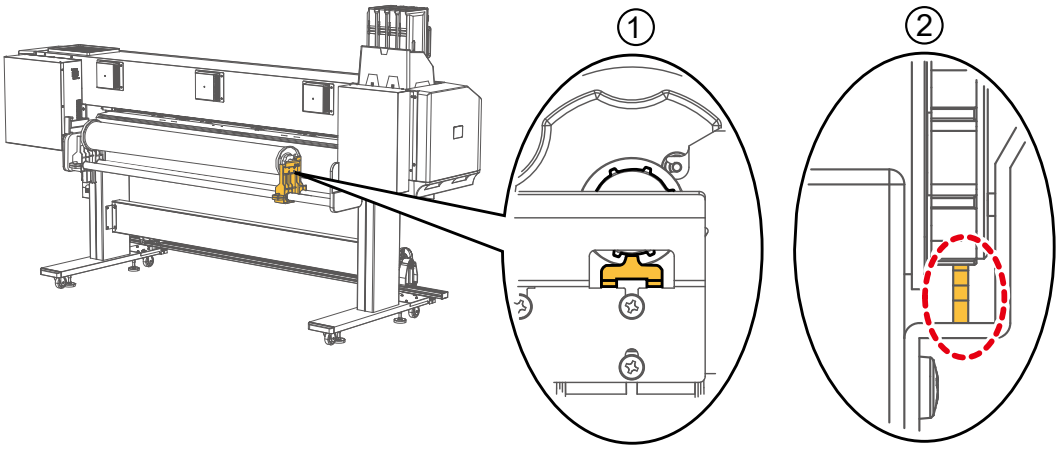
3 **メディアを右側のロール紙受けに取り付けます。ゆっくりと丁寧に取り付けてください。**

- 右側のロール紙受けを、メディアに合わせて移動させます。
- フランジ先を、下のイラストのようにロール軸ガイドとロール紙受けの間にセットします。

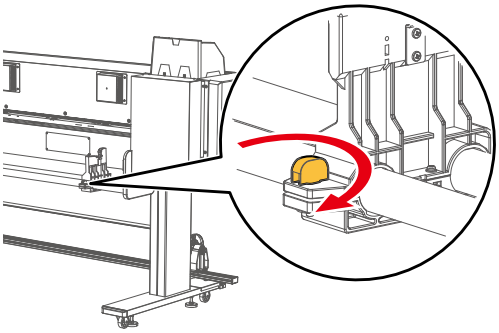


トルクを設定した場合は、続けて下記を確認します。

- ①：真横から見て、ロール軸ガイドの突起が、フランジ先の突起と突起の間にはまっていることを確認します。
- ②：背面から見て、ロール軸ガイドの突起が、フランジ先にセットされていることを確認します。



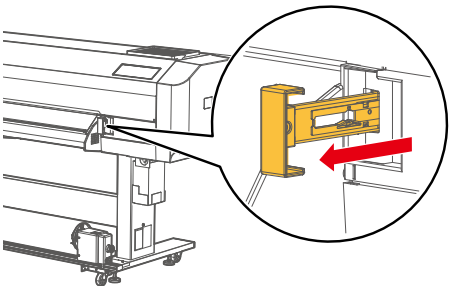
4 **ロール紙受け（右）のノブボルトを時計回りに回転させて締めます。**



4. メディアをセットする

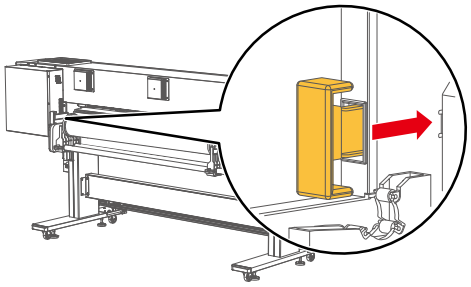
1 プリンターの電源がオンになっていることを確認します。

2 メディアセットレバーを一番手前まで引いて、加圧アームを上げます。

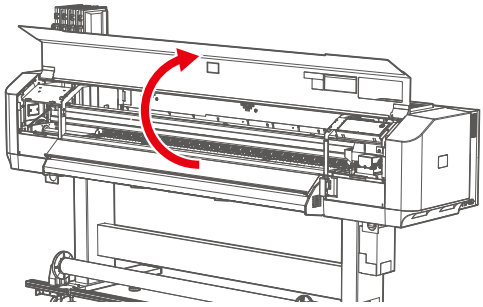


メディアセットレバーは、プリンター背面からも操作可能です。

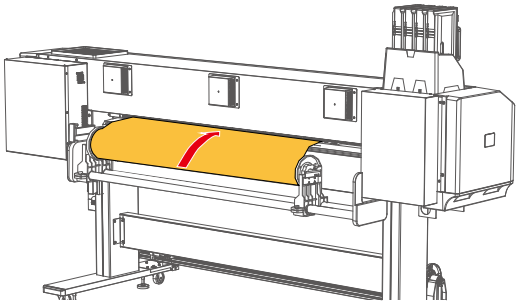
- 奥に押し込むと、加圧アームが上がります。



3 フロントカバーを開きます。

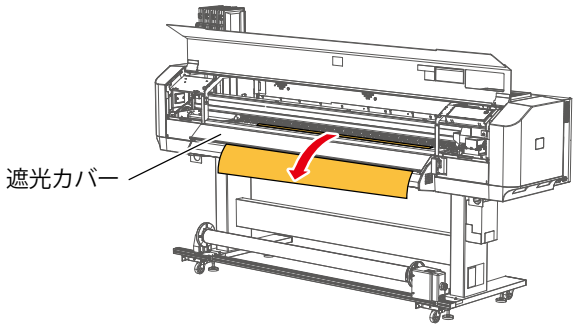


4 メディアを給紙スロットに差し込みます。

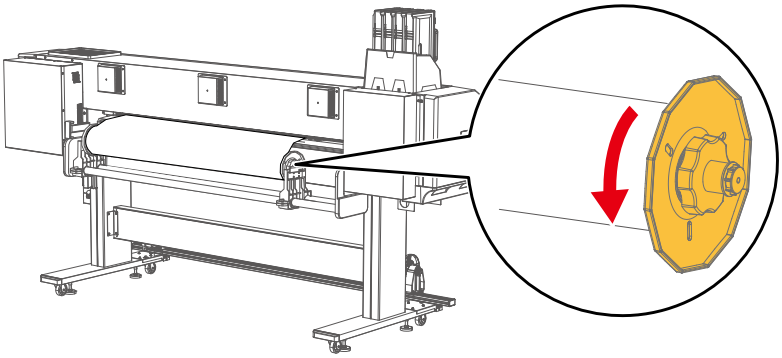


5 正面側からメディアを 1m 程度引き出します。

- 遮光カバーとメディアガイドの間にメディアを通して、引き出します。



6 メディア先端を押さえながら、ロール紙受けのフランジを回してメディアを少し巻き戻し、メディアのたわみや斜行を取り除きます。

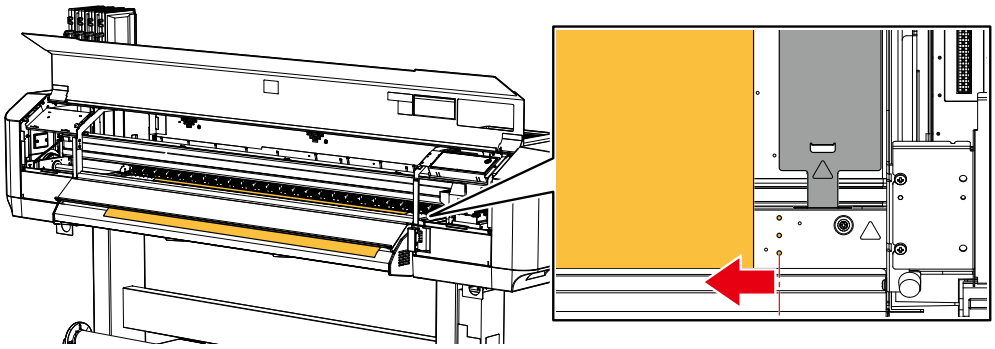


Note

メディアを巻き戻している途中で手を放すと、メディアが給紙スロットから抜けてプリンター背面側に落ちることがあります。

7 メディアの右端がメディアセット目安よりも右側に入っていないことを確認します。

- メディアセット目安よりも右側にメディアがある場合、印刷品質に影響するおそれがあります。



8 必要に応じて、加圧アームの圧力を個別に変更します。

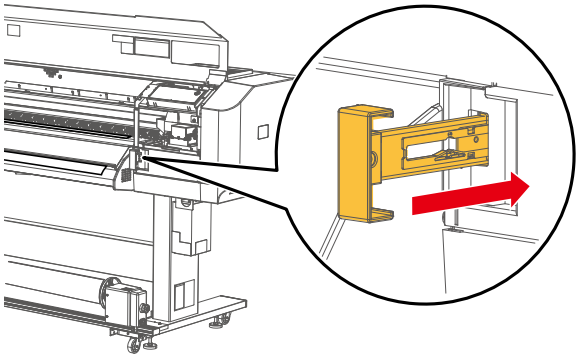
☞取扱説明書「加圧アームの圧力を個別に変更する」

5. メディアセット後の手順

1 メディアセットレバーを押して、加圧アームを下げます。

Note

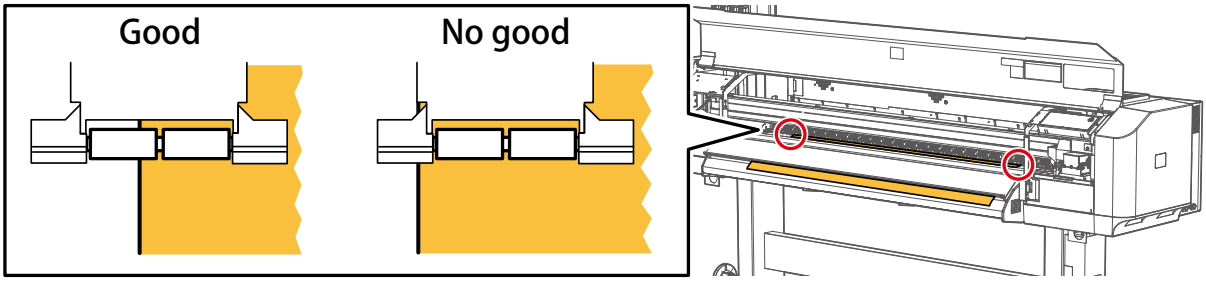
メディアセットレバーは、2 段階（通常 / 強）の圧力に変更することができます。通常のご使用では、手前側のカチッと手ごたえがするところで止め、「通常」の圧力にします。



2 メディアの両端が加圧アームのローラーに押さえられていることを確認します。

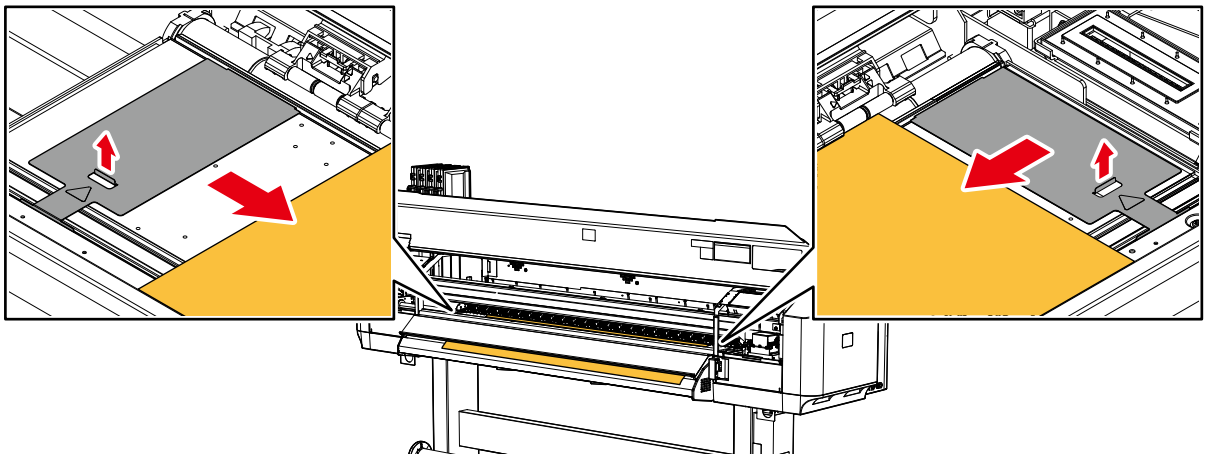
- イラストの「No good」に当てはまる場合は、メディアセットレバーを一番手前まで引いて加圧アームを上げてから、ロール紙受けの左右の位置を変更してください。

☞「3. ロール紙受けにメディアを取り付ける」P.58

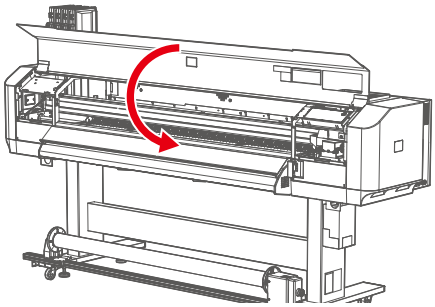


3 メディアの両端にエッジホルダーをセットします。

- エッジホルダーの手前にあるつまみを持ちあげると、エッジホルダーの中央が浮きます。エッジホルダーの中央を浮かせながら、エッジホルダーをメディアの端に被せるように動かしてください。



4 フロントカバーを閉じます。



5 ディスプレイに「ユーザ : Type** OK?」が表示されます。

- 使用するユーザ定義を、▲ / ▼キーで選択します。
- ↵ ([Enter] キー) をタップして、メディアイニシャルを実行します。
- メディアセットを終了します。

ノズルチェックをする

ノズルの状態を印刷して、インクが正常に吐出されているかどうかを確認します。

1 メディアをセットして、メディア幅を検出します。

☞「メディアをセットする」P.55

2 「インサツ デキマス」を表示中、 キーをタップします。

- ディスプレイに「ノズルチェック F　カイシ　-> Enter」が表示されます。

Note

次の手順でも、実行することができます。

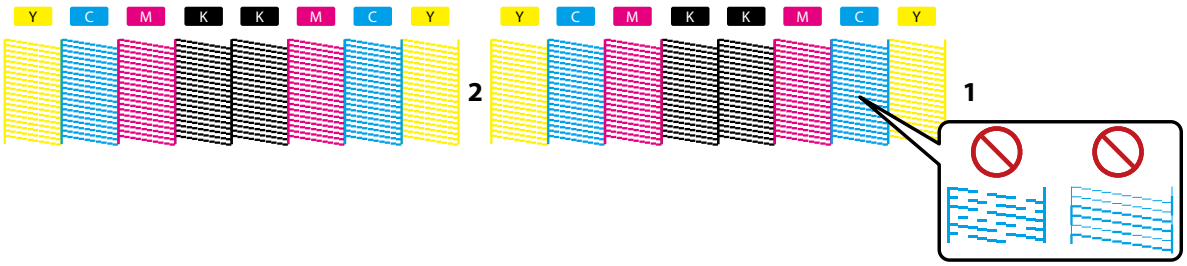
1. ([Home] キー) をタップします。ディスプレイに「セッテイ」が表示されます。
2. / キーをタップして、「テスト インサツ」を表示します。
3. キーをタップして、「ノズルチェック F」を表示します。

3 ([Enter] キー) をタップします。

- ノズルチェックパターンを印刷します。

4 パターンを確認します。

- ノズルの目詰まりがある場合は、「ヘッドクリーニングをする」P.65 に進みます。



Note

プリンター情報（印刷時刻、シリアル番号、ファームウェアバージョン）が印刷されます。

Important!

初期充てん終了直後にノズルチェックを実施すると、次のような現象が発生することがあります。

- 印刷した線がかすれる
- 部分的に印刷されない

このような場合には、微量充てんを実施してください。微量充てんを実施しても印刷結果に変化がない場合は、プリンターを 1 時間以上放置後、再度クリーニング、または微量充てんを実施してから印刷結果を確認してください。印刷結果に変化がない場合は、お問い合わせ先までご連絡ください。 ☞「お問い合わせ先」P.67

ヘッドクリーニングをする

ノズルの目詰まりがあったときは、ヘッドクリーニングをしてください。本製品にはいくつかのクリーニングモードがあります。ノズルチェックの印刷結果によって使い分けてください。

■ ヘッドクリーニングモード

微量クリーニング	少量のインクを消費します。
通常クリーニング	ノズルの目詰まりがある場合に使用します。
強力クリーニング	通常でノズルの目詰まりが解消しないときに使用します。
微量充てん * クリーニングメニューのみ	クリーニング効果が高いですが、多くのインクを消費します。
初期充てん * クリーニングメニューのみ	微量充てんよりクリーニング効果が高いですが、かなり多くのインクを消費します。

Important!

「微量充てん」、「初期充てん」を実施するときは、次の内容を守ってください。
* 動作を中断すると、再度インク充てんを実行するため多量のインクが消費されます。
- 電源をオフにしないこと。
- 電源コードを抜かないこと。
- フロントカバーやメンテナンスカバーを開けないこと。
- 加圧アームを上げないこと。
- インクパックケース、スマートチップカードを抜かないこと。
- インク残量の少ないインクパックを使用しないこと。

1 ▶キーをタップします。

- ディスプレイに「クリーニング シマスカ ?」が表示されます。

Note

次の手順では、クリーニングするヘッド（オール / ヘッド 1/ ヘッド 2）を選択することができます。
1. ([Home] キー) をタップします。ディスプレイに「セッテイ」が表示されます。
2. ▲ / ▼キーをタップして、「クリーニング」を表示します。
3. ▶キーをタップして、「ヘッド センタク：」を表示します。
4. ▲ / ▼キーをタップして、クリーニングするヘッドを選択します。

2 ▲ / ▼キーをタップして、クリーニングモードを選択します。

3 ([Enter] キー) をタップします。

- クリーニングが開始されます。

4 ノズルチェックを印刷して、ノズルの目詰まりがないかどうかを確認します。

☞「ノズルチェックをする」P.64

- ノズルの目詰まりが直らない場合は、通常クリーニングを繰り返してください。

MUTOH Status Monitor のインストール

コンピューターと接続して印刷する前に、必ず MUTOH Status Monitor (MSM) をインストールしてください。
MSM のインストール後は、MSM の取扱説明書に従って、初期設定とプリンター登録を実施してください。
☞ MUTOH Status Monitor 取扱説明書「初期設定」

各種ソフトウェアやマニュアルは MUTOH Club からダウンロードすることができます。

MUTOH Status Monitor (MSM)	本製品のステータス情報を確認したり、各種設定を変更したり、テスト印刷をしたりすることもできます。
VerteLith	MUTOH プリンタの性能を最大限に引き出し、ユーザーのワークフローを効率化する純正 RIP ソフトウェアです。
マニュアル	マニュアルの PDF をダウンロードできます。 • HA-1642 取扱説明書「使い方とメンテナンス方法」 • HA-1642 スタートアップガイド（本書） • MUTOH Status Monitor 取扱説明書 • VerteLith ユーザーマニュアル

Important !

必ず MUTOH Club からダウンロードした MUTOH Status Monitor (MSM) をご使用ください。

MSM のインストール方法

1. 本製品に同梱の「ユーザー登録と各種ダウンロードのお願い」シートを見ながら、ユーザー登録とダウンロードを実施します。

2. ダウンロードした zip ファイルを解凍し、「setup.exe」をダブルクリックします。

お問い合わせ先

製品で技術的にお困りのことがございましたら、MUTOH カスタマーサポートまでお問い合わせください。

MUTOH カスタマーサポート

- TEL：0120-174911
- FAX：0120-184711
- E-mail：gsup@mutoh.co.jp

営業日：月～金曜日（土、日、祝祭日、弊社指定休日を除く）

受付時間：午前 9:00 ～ 12:00、午後 1:00 ～ 5:00

MUTOH